

# 仕 様 書

西部医療センターにおける SIEMENS Healthineers 社製医療機器保守業務委託は本仕様書に基づいて行うものとする。

## 1. 用語の定義

- (1) 「受託者」とは、本仕様書に定める業務を受託する者をいう。
- (2) 「委託者」とは、公立大学法人名古屋市立大学をいう。
- (3) 「病院」とは、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターをいう。

## 2. 保守期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

## 3. 定期保守点検

- (1) 機器ごとに定める点検内容に従い定期点検を実施すること。
- (2) 期間中に機器ごとに定められた回数の点検を実施すること。実施日時については、病院放射線技師（以下「担当者」という。）と協議の上、決定すること。また、担当者と協議し、8 から 18 に記載の実施時間外でも対応が必要となる場合は調整を行うこと。

## 4. 故障修理

病院から故障発生連絡を受け付けたときは、担当者と故障状況を調査し速やかに対処すること。

## 5. 定期点検報告書及び故障修理報告書

各報告書は担当者の確認印を得た後、担当者へ提出するとともに、写しを 1 部経営課へ提出すること。

## 6. 部品交換

- (1) 交換が必要な部品については、担当者及び経営課担当職員と協議し部品交換を行うこと。
- (2) 交換する部品の費用については、機器ごとに定めるものとする。

## 7. 除外事項

次に掲げる故障については、本契約から除外する。

- (1) 病院の故意若しくは重大な過失又は病院設備（電気、空調等）の異常による故障
- (2) 病院独自に変更又は改造した機器の故障
- (3) 受託者以外の者が保守又は修理したことに起因する故障
- (4) 受託者の承認なしに機器を移動又は再設置したことに起因する故障
- (5) 天災、ハッキング、コンピュータウイルスの侵入、その他不可抗力による故障

## 8. 磁気共鳴断層撮影装置保守点検業務

### (1) 対象機器

全身用磁気共鳴断層撮影装置 MAGNETOM Avanto fit Upgrade 2 式 (MR サテライトコンソールを含む)

装置管理番号 732-218947 及び装置管理番号 732-221082

### (2) 定期保守点検内容及び回数

ア 点検内容は、別表 1 のとおりとする。

イ 点検回数は、期間中に 2 回（概ね 6 箇月ごと）実施すること。

ウ 点検の実施時間帯は原則、土曜日の 8 時 30 分～17 時 30 分とする。

※ただし、国民の祝日及び休日、12 月 29 日～1 月 4 日及び 5 月 1 日を除く。

### (3) 交換部品の費用負担

ア 交換する部品の費用については、以下の内容を受託者の負担とする。

- コールドヘッド（※受託者が必要と判断した場合のみコールドヘッドの交換及び冷媒の補充を行う。冷媒の補充を行う場合、コールドヘッド交換時の減少分を上限として装置安定稼働のために受託者が必要と判断した量の補充を行う）
- 液体ヘリウム等の冷媒（クエンチ時、修理時。通常稼働に伴う減少に対する補充は除く。）
- マグネット本体（サーマルサイクル作業後、受託者の判断による。ただし、交換が発生した場合の搬出・搬入及び工事（内外装及びシールド工事）等費用を除く。）
- 定期交換部品（製造元が指定したものに限る）
- 上記以外の部品

イ 消耗品については、委託者が負担するものとする。ただし、患者テーブルマットレス、クッション、患者固定ベルトは受託者の負担とする。

### (4) 保守体制

ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。

イ 年間を通じて 24 時間連絡、修理対応が取れる体制であること。

ウ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設する

こと。

エ Digital Advantage サービスを適用すること（詳細は専用約款に明記する）。

オ Guardian Program を提供すること（詳細は専用約款に明記する）。

カ Quick Connect を提供すること。

キ QuickTouch を提供すること。

Quick Touch または Quick Connect に関する利用条件については、モバイル端末貸出規約 (<https://www.siemens-healthineers.com/jp/srs-mobile-device-lending-agreement>) が適用される。

ク 外部冷却装置（チラー）株式会社エコプラ製 500AV1 の保守（フルメンテナンス）を行うこと。

ケ ZI0 ワークステーション（アミン株式会社/フルメンテナンス）の保守を行うこと（装置管理番号 732-218947 のみ）

## 9. 磁気共鳴断層撮影装置保守点検業務

### (1) 対象機器

全身用磁気共鳴断層撮影装置 MAGNETOM Vida（MR サテライトコンソールを含む）1式  
装置管理番号 732-214812

### (2) 定期保守点検内容及び回数

ア 点検内容は、別表 2 のとおりとする。

イ 点検回数は、期間中に 2 回（概ね 6 箇月ごと）実施すること。

ウ 点検の実施時間帯は原則、土曜日の 8 時 30 分～17 時 30 分とする。

※ただし、国民の祝日及び休日、12 月 29 日～1 月 4 日及び 5 月 1 日を除く。

### (3) 交換部品の費用負担

ア 交換する部品の費用については、以下の内容を受託者の負担とする。

- コールドヘッド（※受託者が必要と判断した場合のみコールドヘッドの交換及び冷媒の補充を行う。冷媒の補充を行う場合、コールドヘッド交換時の減少分を上限として装置安定稼働のために受託者が必要と判断した量の補充を行う）
- 液体ヘリウム等の冷媒（クエンチ時、修理時。通常稼働に伴う減少に対する補充は除く。）
- マグネット本体（サーマルサイクル作業後、受託者の判断による。ただし、交換が発生した場合の搬出・搬入及び工事（内外装及びシールド工事）等費用を除く。）
- 定期交換部品（製造元が指定したものに限る）
- 上記以外の部品

イ 消耗品については、委託者が負担するものとする。ただし、患者テーブルマットレ

ス、クッション、患者固定ベルトは受託者の負担とする。

(4) 保守体制

ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。

イ 年間を通じて 24 時間連絡、修理対応が取れる体制であること。

ウ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。

エ Digital Advantage サービスを適用すること（詳細は専用約款に明記する）。

オ Guardian Program を提供すること（詳細は専用約款に明記する）。

カ Quick Connect を提供すること。

キ Quick Touch を提供すること。

Quick Touch または Quick Connect に関する利用条件については、モバイル端末貸出規約 (<https://www.siemens-healthineers.com/jp/srs-mobile-device-lending-agreement>) が適用される。

ク 外部冷却装置（チラー）株式会社エコプラ製 500AV1 の保守（フルメンテナンス）を行うこと。

ケ インジェクター（根本杏林堂社製）の保守（フルメンテナンス）を行うこと。

10. SPECT 保守点検業務

(1) 対象機器

デュアルディテクタガンマカメラ SPECT Symbia E (Symbia Net を含む)

装置管理番号 732-114747

※本装置は製造元の製品サポートが終了しているものである

(2) 定期保守点検内容及び回数

ア 点検内容は、別表 3 のとおりとする。

イ 点検回数は、期間中に 2 回（概ね 6 箇月ごと、4 月及び 10 月を予定）実施すること。

ウ 点検の実施時間帯は月曜日から金曜日までの 8 時 30 分～17 時 30 分とする。

※ただし、国民の祝日及び休日、12 月 29 日～1 月 4 日及び 5 月 1 日を除く。

(3) 交換部品の費用負担

交換する部品及び消耗品の費用については、全て委託者の負担とする。

(4) 保守体制

ア 修理対応に係る費用については、全て委託者の負担とする。

イ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設する

こと。

ウ オンサイトトレーニング半日コースを年間1回まで実施すること。

## 11. 循環器対応バイプレーン血管撮影装置保守点検業務

### (1) 対象機器

循環器対応バイプレーン血管撮影装置 Artis zee Biplane

装置管理番号 732-155867

### (2) 定期保守点検内容及び回数

ア 点検内容は、別表4のとおりとする。

イ 点検回数は、期間中に3回（概ね4箇月ごと、6月、10月及び2月を予定）実施すること。

ウ 点検の実施時間帯は月曜日から金曜日までの8時30分～17時30分とする。

※ただし、国民の祝日及び休日、12月29日～1月4日及び5月1日を除く。

### (3) 交換部品の費用負担

交換する部品及び消耗品の費用については、全て委託者の負担とする。

### (4) 保守体制

ア 修理対応に係る費用については、全て委託者の負担とする。

イ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。

ウ 製品に関わるIT環境を最新のものにバージョンアップ（最新ソフトウェアの提供）すること。

## 12. マルチスライスCT保守点検業務

### (1) 対象機器

マルチスライスCT装置 SOMATOM Definition Flash (CTサテライトコンソールを含む)

装置管理番号 732-215668

※本装置は製造元の製品サポートが終了しているものである

### (2) 保守期間、定期保守点検内容及び回数

ア 点検内容は、別表5のとおりとする。

イ 点検回数は、期間中に2回（概ね6箇月ごと）実施すること。

ウ 点検の実施時間帯は原則、土曜日の8時30分～17時30分とする。

※ただし、国民の祝日及び休日、12月29日～1月4日及び5月1日を除く。

### (3) 交換部品の費用負担

- ア 交換する部品の費用については、以下の内容を受託者の負担とする。
- X線管
  - ディテクタ
  - UPS用のバッテリー（製造元が定期交換部品に指定したものに限り）
  - カーボンブラシ（製造元が定期交換部品に指定したものに限り）
  - カーボンブラシ以外の定期交換部品（製造元が指定したものに限り）
  - その他の部品
- イ 消耗品については、委託者が負担するものとする。ただし、患者テーブルマットレス、クッション、患者固定ベルトは受託者の負担とする。

#### (4) 保守体制

- ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。
- イ 年間を通じて24時間連絡、修理対応が取れる体制であること。
- ウ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。
- エ オンサイトトレーニング半日コースを年間1回まで実施すること。
- オ アプリケーションプログラムを提供すること。
- カ Quick Connectを提供すること。
- Quick Connectに関する利用条件については、モバイル端末貸出規約 (<https://www.siemens-healthineers.com/jp/srs-mobile-device-lending-agreement>) が適用される。
- キ インジェクター（根本杏林堂社製）の保守（フルメンテナンス）を行うこと。

### 13. マルチスライスCT保守点検業務

#### (1) 対象機器

全身用X線CT診断装置 SOMATOM Force (3D Cameraを含む)  
装置管理番号 732-225051

#### (2) 保守期間、定期保守点検内容及び回数

- ア 点検内容は、別表6のとおりとする。
- イ 点検回数は、期間中に1回、実施すること。
- ウ 点検の実施時間帯は原則、土曜日の8時30分～17時30分とする。
- ※ただし、国民の祝日及び休日、12月29日～1月4日及び5月1日を除く。

#### (3) 交換部品の費用負担

- ア 交換する部品の費用については、以下の内容を受託者の負担とする。
- X線管

- ディテクタ
- UPS 用のバッテリー（製造元が定期交換部品に指定したのものに限る）
- カーボンブラシ（製造元が定期交換部品に指定したのものに限る）
- カーボンブラシ以外の定期交換部品（製造元が指定したのものに限る）
- その他の部品

イ 消耗品については、委託者が負担するものとする。ただし、患者テーブルマットレス、クッション、患者固定ベルトは受託者の負担とする。

#### (4) 保守体制

- ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。
- イ 年間を通じて 24 時間連絡、修理対応が取れる体制であること。
- ウ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。
- エ 製品に関わる IT 環境を最新のものにバージョンアップ（コンピュータのハードウェア交換及び最新ソフトウェアの提供）すること。
- オ アプリケーションプログラムを提供すること。
- カ Tube Guard を提供すること（詳細は専用約款に明記する）。
- キ Quick Connect を提供すること。  
Quick Connect に関する利用条件については、モバイル端末貸出規約 (<https://www.siemens-healthineers.com/jp/srs-mobile-device-lending-agreement>) が適用される。
- ク 外部冷却装置（チラー）株式会社エコプラ製 125AV の保守（フルメンテナンス）を行うこと。
- ケ インジェクター（根本杏林堂社製）の保守（フルメンテナンス）を行うこと。
- コ トランス（光陽電機）の保守（点検）を行うこと。

#### 14. 汎用画像診断装置ワークステーション保守点検業務

##### (1) 対象機器

汎用画像診断装置ワークステーション syngo. via  
装置管理番号 732-225228

##### (2) 保守期間、定期保守点検内容及び回数

- ア 点検内容は、別表 7 のとおりとする。
- イ 点検回数は、期間中に 1 回実施すること。
- ウ 点検の実施時間帯は原則、土曜日の 8 時 30 分～17 時 30 分とする。  
※ただし、国民の祝日及び休日、12 月 29 日～1 月 4 日及び 5 月 1 日を除く。

(3) 交換部品の費用負担

ア 交換する部品の費用については、以下の内容を受託者の負担とする。

- L-Server
- その他の部品（端末機器を除く）

イ 消耗品については、委託者が負担するものとする。

(4) 保守体制

ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。

イ 受託者は本装置のサポート依頼が委託者からあった場合、月曜日から金曜日の0時00分～24時00分（ただし、国民の祝日及び休日、12月29日～1月4日及び5月1日を除く。）で、依頼を受理してから4時間以内にエンジニアによる電話サポートを行い、更に現地作業が必要と判断したときは、受託者はできる限り迅速にエンジニア（受託者が指定する再委託先のエンジニアを含む）を本装置設置場所まで派遣する。ただし、緊急性が高くない場合、及び交通事情・部品手配事情その他の合理的理由がある場合、受託者はエンジニアを翌日以降に派遣することができる。

ウ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。

エ 製品に関わるIT環境を最新のものにバージョンアップ（端末機器を除くコンピュータのハードウェア交換及び最新ソフトウェアの提供）すること。

オ アプリケーションプログラムを提供すること。

15. 据置型デジタル式X線血管造影診断装置

(1) 対象機器

据置型デジタル式X線血管造影診断装置 Artis zee ceiling ICT (syngo Application Software SYS (XA062) を含む)

装置管理番号 732-228267

(2) 保守期間、定期保守点検内容及び回数

ア 点検内容は、別表8のとおりとする。

イ 点検回数は、期間中に2回実施すること。

ウ 点検の実施時間帯は原則、土曜日の8時30分～17時30分とする。

※ただし、国民の祝日及び休日、12月29日～1月4日及び5月1日を除く。

(3) 交換部品の費用負担

ア 交換する部品の費用については、受託者の負担とする。ただし、部品定価100,000円を超える交換部品及び消耗品は委託者の負担とする。

(4) 保守体制

- ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。
- イ 年間を通じて 24 時間連絡、修理対応が取れる体制であること。
- ウ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。
- エ 製品に関わる IT 環境を最新のものにバージョンアップ (syngo Application Software SYS (XA062) を除くコンピュータのハードウェア交換及び最新ソフトウェアの提供) すること。
- オ インジェクター (バイエル薬品) の保守 (フルメンテナンス) を行うこと。

## 16. 全身用 X 線 CT 診断装置

### (1) 対象機器

全身用 X 線 CT 診断装置 SOMATOM Confidence ICT  
装置管理番号 732-228266

### (2) 保守期間、定期保守点検内容及び回数

- ア 点検内容は、別表 9 のとおりとする。
- イ 点検回数は、期間中に 2 回実施すること。
- ウ 点検の実施時間帯は原則、土曜日の 8 時 30 分～17 時 30 分とする。  
※ただし、国民の祝日及び休日、12 月 29 日～1 月 4 日及び 5 月 1 日を除く。

### (3) 交換部品の費用負担

- ア 交換する部品の費用については、受託者の負担とする。ただし、部品定価 100,000 円を超える交換部品及び消耗品は委託者の負担とする。

### (4) 保守体制

- ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。
- イ 年間を通じて 24 時間連絡、修理対応が取れる体制であること。
- ウ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。
- エ 製品に関わる IT 環境を最新のものにバージョンアップ (コンピュータのハードウェア交換及び最新ソフトウェアの提供) すること。
- オ 外部冷却装置 (チラー) 株式会社エコプラ製 125AV の保守 (フルメンテナンス) を行うこと。
- カ インジェクター (バイエル薬品) の保守 (フルメンテナンス) を行うこと。

## 17. 据置型デジタル式泌尿器科用 X 線診断装置

(1) 対象機器

据置型デジタル式泌尿器科用 X 線診断装置 UROSKOP Omnia Max  
装置管理番号 732-228292

(2) 保守期間、定期保守点検内容及び回数

- ア 点検内容は、別表 10 のとおりとする。
- イ 点検回数は、期間中に 1 回実施すること。
- ウ 点検の実施時間帯は原則、月曜日から金曜日までの 8 時 30 分～17 時 30 分とする。  
※ただし、国民の祝日及び休日、12 月 29 日～1 月 4 日及び 5 月 1 日を除く。

(3) 交換部品の費用負担

- ア 交換する部品の費用については、受託者の負担とする。ただし、部品定価 100,000 円を超える交換部品及び消耗品は委託者の負担とする。

(4) 保守体制

- ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。
- イ 年間を通じて 24 時間連絡、修理対応が取れる体制であること。
- ウ 電話回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、電話回線は受託者の責任において敷設すること。また、担当者及び管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。

18. 全身用 X 線 CT 診断装置（陽子線治療センター設置分）（別表 11）

(1) 対象機器

全身用 X 線 CT 診断装置 SOMATOM go.Open Pro（汎用画像診断装置ワークステーション syngo.via（装置管理番号 732-228168）を含む）  
装置管理番号 732-227931

(2) 保守期間、定期保守点検内容及び回数

- ア 点検回数は、期間中に 1 回実施すること。（点検月は 9 月及び 3 月以外とする）
- イ 点検の実施時間帯は原則、月曜日から金曜日までの 8 時 30 分～17 時 30 分とする。  
※ただし、国民の祝日及び休日、12 月 29 日～1 月 4 日及び 5 月 1 日を除く。

(3) 交換部品の費用負担

- ア 交換する部品の費用については、以下の内容を受託者の負担とする。

1. SOMATOM go.Open Pro（装置管理番号 732-227931）

- X 線管
- ディテクタ
- タブレット式リモート制御ユニット
- UPS 用のバッテリー（製造元が定期交換部品に指定したものに限る）
- カーボンブラシ（製造元が定期交換部品に指定したものに限る）

- カーボンブラシ以外の定期交換部品（製造元が指定したものに限り）
  - その他の部品
2. syngo.via（装置管理番号 732-228168）
- via Server Type L
  - その他の部品（端末機器を除く）
- イ 消耗品については、委託者が負担するものとする。ただし、患者テーブルマットレス、クッション、患者固定ベルトは受託者の負担とする。

#### (4) 保守体制

##### 1. SOMATOM go.Open Pro（装置管理番号 732-227931）

- ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。
- イ 期間を通じて 24 時間連絡、修理対応が取れる体制であること。
- ウ 光回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、光回線は受託者の責任において敷設すること。また、管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。
- エ Digital Advantage を提供すること。（詳細は専用約款に明記する）
- オ オンライントレーニング半日コースを期間中 1 回まで実施すること。
- カ Guardian Basic を提供すること。（詳細は専用約款に明記する）
- キ Quick Touch を提供すること。  
Quick Touch に関する利用条件については、モバイル端末貸出規約  
(<https://www.siemens-healthineers.com/jp/srs-mobile-device-lending-agreement>)が適用される。
- ク インジェクター（根本杏林堂社製）の保守（フルメンテナンス）を行うこと。
- ケ 放射線治療 CT GW システム（インフォコム社製）の保守（フルメンテナンス）を行うこと。

##### 2. syngo.via（装置管理番号 732-228168）

- ア 修理対応に係る費用については、全て受託者の負担とする。
- イ 期間を通じて 24 時間連絡、修理対応が取れる体制であること。
- ウ 光回線を利用したリモート診断を行うこと。なお、光回線は受託者の責任において敷設すること。また、管理課担当職員と十分協議した上で敷設すること。
- エ 製品に関わる IT 環境を最新のものにバージョンアップ（端末機器を除くコンピュータのハードウェア交換及び最新ソフトウェアの提供）すること。
- オ オンライントレーニング半日コースを期間中 1 回まで実施すること。
- カ アプリケーションプログラムを提供すること。

#### 19. 検査及び委託料の支払い

- (1) 委託者は、契約期間中に保守業務の完了検査を履行開始日から令和 8 年 9 月末までとそ

他の期間とで分けて2回行うものとし、受託者は、検査に合格した後に当該業務に係る委託料の支払いを請求することができるものとする。なお、詳細は別添の請求支払計画一覧に記載する。

- (2) 受託者は、(1)における検査の際に、4に定める報告書及びその他保守業務を履行したことが確認できる書類等を委託者に提出するものとする。ただし、既に提出されている等の理由で重複する場合その他委託者が必要でないと認めるときは、受託者は、当該書類の提出を省略することができるものとする。
- (3) 18について、装置の使用量により、下表のとおり委託者は保守追加料金を負担するものとする。

契約期間（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

委託者の装置使用量	保守追加料金（税別）
契約期間中 2,000 検査以内	なし
契約期間中 2,001 検査以上	1 検査あたり金 2,000 円

- (4) 装置使用量は、受託者指定の方法でリモート回線を経由し集計された使用量とする。
- ア リモート回線の不具合等により装置使用量が計測できない場合、次の方法により推計した検査数で計算し確定する。「推計装置使用量＝受託者指定の方法で集計された過去3ヶ月間の装置使用量の平均」
- イ 委託者は、装置使用量の算出について、前項に記載する以外のいかなる算出方法も適用されないことを確認する。
- ウ 委託者は、装置使用量が受託者指定の方法により算出される値である為、受託者により測定された装置使用量と一致しない場合があることを確認する。
- エ 受託者は、1ヶ月ごと確定した装置使用量について、翌月に委託者へ報告する。
- オ 受託者は、契約期間の装置使用量を確定し、前項により保守追加料金が発生した場合、保守追加料金を委託者に請求する。
- (5) 保守追加料金の精算は契約満了日に行うものとする。受託者は、契約満了日に(3)に定める期間における委託者の装置使用量を確定し、保守追加料金が発生した場合、受託者は保守追加料金及び消費税額（地方消費税額を含む）を一括して委託者に請求し、委託者は請求書発行日の翌月25日までに受託者に指定する銀行口座に現金にて振込む。
- (6) この契約が解約または解除された場合、装置使用量上限及び保守追加料金については契約期間の開始日から解約または解除の日までを月割り（1ヶ月未満は1ヶ月に切り上げる。）にて装置使用量上限を計算し、確定する。そのうえで、当該期間中に委託者が使用した装置使用量の実績が確定した装置使用量上限を超過している場合に、その差分を(3)の表に基づき保守追加料金を確定させるものとする。

## 20. 妨害又は不当要求に対する届出義務

- (1) 受託者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から妨害（不法な行為等で、業務履行の障害となるものをいう。）又は不当要求（金銭の給付等一定の行為を請求する権利若しくは正当な利益がないにもかかわらずこれを要求し、又はその要求の方法、態様若しくは程度が社会的に正当なものと認められないものをいう。）を受けた場合は、委託者へ報告し、警察へ被害届を提出しなければならない。
- (2) 受託者が(1)に規定する妨害又は不当要求を受けたにもかかわらず、(1)の報告又は被害届の提出を行わなかった場合は、競争入札による契約又は随意契約の相手方としない措置を講じることがある。

## 21. その他

- (1) 別記「障害者差別解消に関する特記仕様書」を遵守すること。
- (2) 別記「情報取扱注意項目」を遵守すること。
- (3) 本仕様書に記載のない事項については、担当者と協議の上、実施すること。

MAGNETOM Avanto fit

2	第1回目 (Part 1)の開始	
2.1		装置の状態
2.2		SEP(オプション)
	PMP	第一次水回路のフィルタ清掃
	PMP	第二次水回路のフィルタ清掃
		接地抵抗値の測定
2.3.1		システム接地抵抗値の測定(2年毎)
	SI	ACC:接地ボルト ライン分配ボックス:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	RFフィルタプレート:接地ボルト:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	マグネット:マグネット取付:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	RFコンポーネンツマグネット:取付けプレート:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	寝台:寝台の下側ネジ:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	マグネットコールドヘッドコンプレッサー:取付:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	MRCホスト:接地ボルト:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	オプションSEP:メタルフレーム:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	オプションIFP:メタルフレーム:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	インターコム稼働ユニット:ネジの取付:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	インターコム:ネジの取付:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	コンソールの電源分配器:接地ネジ:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	MRC TFTモニタ:下部ネジ取付:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	オプション1:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	オプション2:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	オプション3:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
2.3.2		MRSC(MRWP)接地抵抗値の測定(1年毎)
	SI	MRSCホスト:取付ネジ:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	TFTモニタ:下部の取付ネジ:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
	SI	外部デスクトップMOD:接地抵抗値 $\leq 0.3 \Omega$
2.4	SI	緊急停止ボタンの確認
2.5	PMP	ACCキャビネット:ファンアセンブリの確認
2.6	SI	傾斜磁場ノイズフィルタファンの確認
2.7	SI	傾斜磁場監視ユニットの確認:Avanto
2.8	SI	傾斜磁場監視ユニットの確認:Espre
2.9	PM	冷却装置の確認:水漏れ・結露の確認
2.1	SI	ガントリーコイルのクオリティ測定:調整・Tune-Upデータの確認
2.11		ソフトウェア
2.11.1	SW	ディレクトリーのクリーニング:MR保存ログファイルの削除
2.11.2	SW	設定データのバックアップ取得
2.12		制御アクセスエリアの特定
2.12.1	SI	5ガウス制限エリアの警告表示の確認
2.12.2	SI	5ガウスエリアの測定(Avanto)
2.12.3	SI	5ガウスエリアの測定(Espre)
2.13	SI	レーザー警告ラベルの確認
2.14	SI	寝台の警告サインの確認
2.15	SI	聴覚保護サインの確認
2.16		第1回目 (Part 1)の終了

3	第2回目 (Part 2)の開始	
3.1		装置の状態
3.2		オプションとアクセサリ
3.2.3		各種検査部位用コイルの目視確認 (コネクタピン、カバー破損等)
3.2.3.1		オプション MRSC
3.2.3.1	SI	オプション MRSC
3.2.3.2	SI	オプション トロリー
3.2.3.3	SI	オプション 1
3.2.3.4	SI	オプション 2
3.2.3.5	SI	オプション 3
3.2.3.6	SI	オプション 4
3.2.3.7	SI	オプション 5
3.3	PMP	ファントムの確認
3.4	PMP	吸引ポンプ (comfort kit option)のフィルタ交換(2年毎)
3.5		TFTモニタ
3.5.2	PMA	TFTモニタの確認
3.6		RFルームドア
3.6.1	PMP	RFルームドアの確認
3.6.2	PM	RFルームのドアロックの確認
3.7		RF整合性
3.7.1	SI	SARモニタのテスト
3.7.2	SI	ボディコイルパワー損失の測定
3.8	SI	ガントリーコイルのクオリティ測定:調整・Tune-Upデータの確認
3.9		ソフトウェア
3.9.1	SW	ディレクトリーのクリーニング:MR保存ログファイルの削除
3.9.2	SW	設定データのバックアップ取得
3.1	SI	お客様文書が整理されているかの確認
3.11	SI	ユーザーアイコン、ボタンラベルの確認
3.12		第2回目 (Part 2)の終了

4	第3回目 (Part 3)の開始	
4.1		装置の状態
4.2	SI	クエンチチューブの目視点検
4.3		寝台
4.3.1	PM	寝台 ドライブユニットの確認
4.3.2	SI	寝台安全スイッチの確認
4.3.3	SI	寝台ストップボタンの確認
4.3.4	SI	リアルタイムコントローラー(RTC) (12M) 正面
4.3.5		寝台の警告サインの確認
4.3.5.1	SI	寝台とRFルーム壁間の距離確認(0.5m以上無い場合:警告表示の貼付)
4.3.5.2	SI	寝台とカバーの距離の確認
4.3.6	SI	エマージェンシーボールの確認
4.3.7	SI	リアルタイムコントローラー(RTC) (12M) 側面
4.4		患者トrolley
4.4.1	PM	患者トrolleyバッテリーの交換(オプション)
4.4.2	SI	オプション トrolley:ロック機構の確認
4.5		マグネットシステム
4.5.1	PM	SRSへの定期アップロードの確認
	PM	コールドヘッドの交換 (シールド温度上昇が確認された場合)
4.5.2	PM	吸着器(アドゾーパー)の交換
		吸着器(アドゾーパー)タイプの選択
4.5.2.1		吸着器(アドゾーパー)の交換 CSW 71 (2年毎)
4.5.2.2		吸着器(アドゾーパー)の交換 (F70:3年毎)
4.6	SI	ガントリーコイルのクオリティ測定:調整・Tune-Upデータの確認
4.7		ソフトウェア
4.7.1	SW	ディレクトリーのクリーニング:MR保存ログファイルの削除
4.7.2	SW	設定データのバックアップ取得
4.8		第3回目 (Part 3)の終了

5	第4回目 (Part 4)の開始	
5.1		装置の状態
5.2	PM	コンピュータMRC-MRSCの清掃
5.3	SI	TALESの交換(2年毎)
5.4	PM	ガントリー内のエアフィルタの確認
5.5		装置
	SI	装置の目視点検
	SI	ケーブルとケーブルガイドの目視点検
5.6		マグネット
5.6.1	SI	クエンチバルブ内に水が無いことの確認
5.6.2	SI	マグネットサービスタレットとベンディングシステムの着氷確認
5.6.3	SI	マグネットシステムのヘリウムガス漏れが無いことの確認
5.7		ERDU
5.7.1	SI	マグネット停止ボタンの動作テスト(ERDU) (1年毎)
5.7.2	SI	マグネット停止ボタンの動作テストERDU (MSUP K2306)
5.8		モバイルシステム
5.8.1	PM	ショックログバッテリーの交換(モバイルシステムのみ)
5.8.2	SI	ショックログデータのダウンロード(モバイルシステムのみ)
5.9	SI	ガントリーコイルのクオリティ測定:調整・Tune-Upデータの確認
5.1		ソフトウェア
5.10.1	SW	ディレクトリーのクリーニング:MR保存ログファイルの削除
5.10.2	SW	設定データのバックアップ取得
5.11		第4回目 (Part 4)の終了

シーメンス・ジャパン 自主確認項目		
1		オプション:環境測定
1.1		温湿度計の有無
1.2	PMF	温湿度計:測定値
	PMF	温湿度測定器電池交換
1.3		チラー稼働状態確認
	PMF	チラー流量確認
	PMF	チラー水温表示
1.4		除湿器の確認
		除湿器の有無
	PMF	フィルターおよびドレンの清掃
2		画像性能維持調整(Tune-up)
2.1	QIQ	画像性能維持調整(Tune-up) ※ヘリウム補充後やチラー修理時のシールド温度が不安定な場合は除く
2.2	QIQ	各種検査部位用コイルのSN測定(QA)
3	PMF	中心周波数の測定
4	PMF	酸素濃度計センサーの校正
5	SW	ホストコンピュータの時刻補正
6	PMF	心電図波形検出ユニットおよびパルス波形検出ユニットの動作確認
7	PMF	二次冷却水の圧力確認
8	PMF	スキャナー制御基板のバッテリー電圧の確認
9	PMF	停電時マグネット停止用バッテリーの確認
10	PMF	磁場発生中灯・使用中灯の動作確認

1	予保全点検の開始	
1.1	PM	ホストコンピュータMRC-MRSCの清掃
1.2		TFTモニタ
1.2.3	PMA	TFTモニタの確認
1.4	PM	傾斜磁場ノイズフィルタファンの確認
1.5	PMP	冷却装置の確認
1.6		SEP:水回路のフィルタの確認
1.6.1	PM	一次冷却水回路のフィルタの確認
1.6.2	PM	二次冷却水回路のフィルタの確認
1.7		寝台
1.7.1	PM	寝台 スピンドルとガイドレールへの注油 最終実施日(初回18ヶ月 以降2年毎)
1.7.2	PM	オプション ドッキングステーションスピンドルへの注油 最終実施日(初回18ヶ月以降2年毎)
1.7.3	PM	オプション ドッキングテーブルのバッテリー交換 最終実施日(初回30ヶ月 以降3年毎)
1.8		オプション ネカサリドッキングテーブル
	PM	オプション ネカサリドッキングテーブル:スピンドルとガイドレールへの注油 最終実施日(初回18ヶ月 以降2年毎)
	PM	オプション ネカサリドッキングテーブル:バッテリー交換 最終実施日(初回30ヶ月 以降3年毎)
1.9		コールドヘッド
	PM	コールドヘッドの交換 最終交換日 予保全点検の終了

2	一般安全項目の開始	
2.1		装置
	SI	装置の目視点検
	SI	ケーブルとケーブルガイドの目視点検
2.2	SI	オプションとアクセサリの目視点検
2.2.4		各種検査部位用コイルの目視点検 (コネクタピン、カバー破損等)
2.2.4.1	SI	オプション MRSC(MRWP)
2.2.4.2	SI	オプション ドッキングテーブル
2.2.4.3	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル
2.3	SI	ファントムの確認
2.4	SI	クエンチチューブの目視点検
2.5	SI	クエンチバルブ内に水が無いことの確認
2.6	SI	マグネットサービスラックとベンチングシステムの着氷確認
2.7	SI	マグネットシステムのヘリウムガス漏れが無いことの確認
2.8	SI	ガントリー送風機用フィルタの確認
2.9	SI	お客様文書が整理されているかの確認
2.10	SI	ユーザーアイコン、ボタンラベルの確認
2.11		制御アクセスエリアの特定
2.11.1	SI	5ガウス制限エリアの警告表示の確認
2.12		RFルームドア
2.12.1	SI	RFルームのドアロックの確認
2.13		警告ラベルの確認
2.13.1	SI	患者テーブル警告ラベルの確認
2.13.2	SI	聴覚保護ラベルの確認
2.13.3	SI	オプション 小児用コイルの警告サインの確認
2.13.4	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル警告ラベルの確認
		一般安全項目の終了

3	電気的安全項目の開始	
3.1	接地抵抗値の測定	
3.1.1		システム接地抵抗値の測定(2年毎)
	SI	EPC:接地ポルト;ライン分配ボックス:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	RFフィルタプレート:接地ポルト:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	マグネットColdheadコンプレッサー:本体:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	オプションSEP:メタルフレーム:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SI	MRC(MRAWP)-ホスト:取付ポルト:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	MRC(MRAWP) TFTモニタ1:下部の取付ネジ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	MRC(MRAWP) TFTモニタ2:下部の取付ネジ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	コントロール マルチプルソケット(ライン1- UPS)接地ネジ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	コントロール マルチプルソケット(ライン2- NO UPS)接地ネジ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	マグネットRFコンポーネンツ:RFCEL:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	マグネットRFコンポーネンツ:TX-Box:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	マグネット:マグネット本体:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	オプション :接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 説明: 測定値(m $\Omega$ ):
3.1.2		固定寝台接地抵抗値の測定(2年毎)
	SI	固定寝台:メタルフレーム:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
3.1.3		オプション ドッキングテーブルの接地抵抗値の測定(1年毎)
	SI	オプション ドッキングテーブル:メタルフレーム:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
3.1.4		オプション ネカサリドッキングテーブルの接地抵抗値の測定(1年毎)
	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:アースコネクタ左側:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:アースコネクタ右側:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
3.1.5		オプション MRSC(MRWP)接地抵抗値の測定(1年毎)
	SI	オプション MRSC(MRWP)ホスト:取付ネジ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	オプション MRSC(MRWP)TFTモニタ下部の取付ネジ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
	SI	オプション :接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$ 測定値(m $\Omega$ ):
		電気的安全項目の終了

4	機能的安全項目の開始	
4.1		緊急停止ボタン
	SI	緊急停止ボタンの動作確認
	SI	EPCキャビネットの状態確認
	SI	GPAキャビネットの状態確認
	SI	オプション UPSからの出力停止確認
4.2	SI	傾斜磁場監視ユニットの確認
4.3		寝台
4.3.1	SI	寝台ストップボタンの確認
4.3.2	SI	寝台緊急時移動の確認
4.3.3	SI	寝台後方メカニカルストップバー、警告ラベル、RFルームの距離の確認
4.3.4	SI	寝台とカバーの距離の確認
4.3.5	SI	寝台移動の確認
4.3.6	SI	エマージェンシーボールの動作確認
4.3.7	SI	オプション ドッキングテーブル:スライドレールスイッチの確認
4.3.8	SI	オプション ドッキングテーブル:挟み込み防止スイッチの確認
4.3.9	SI	オプション ドッキングテーブル:緊急時分離機能の確認
4.3.10	SI	オプション ドッキングテーブル:フレームとホイールの確認
4.4		ネカサリドッキングテーブル
4.4.1	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:寝台ストップボタンの確認
4.4.2	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:寝台緊急時移動の確認
4.4.3	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:寝台水平移動ロック機構の確認
4.4.4	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:寝台とカバーの距離の確認
4.4.5	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:寝台移動の確認
4.4.6	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:エマージェンシーボールの動作確認
4.4.7	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:挟み込み防止スイッチの確認
4.4.8	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:インターフェースボックスの確認
4.4.9	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:緊急時分離機能の確認
4.4.10	SI	オプション ネカサリドッキングテーブル:フレームとホイールの確認
4.5	SI	マグネット停止ボタンの動作テスト(ERDL) 最終実施日
4.6	SI	ガントリーコイルのクオリティ測定:調整・Tune-Upデータの確認
		機能的安全項目の終了

1	環境測定の開始(自主確認項目)	
1.1		温湿度計の有無
1.2		温湿度計:測定値
	PMF	測定場所(操作室)
		最高温度(°C)
		最低温度(°C)
		最大湿度(%)
		最低湿度(%)
	PMF	測定場所(検査室)
		最高温度(°C)
		最低温度(°C)
		最大湿度(%)
		最低湿度(%)
	PMF	測定場所(機械室)
		最高温度(°C)
		最低温度(°C)
		最大湿度(%)
		最低湿度(%)
1.3		チラー稼働状態確認
	PMF	チラー流量確認
	PMF	チラー水温表示
1.4		除湿器の確認
		除湿器の有無
	PMF	フィルタの確認
	PMF	ドレインの確認(必要に応じて清掃)
2	PMF	中心周波数の測定
3	PMF	酸素濃度計センサーの校正
4	SW	ホストコンピュータの時刻補正
5	PMF	心電図波形検出ユニットおよびパルス波形検出ユニットの動作確認
6	PMF	二次冷却水の圧力確認
7	PMF	停電時マグネット停止用バッテリーの確認
		環境測定(自主確認項目)の終了

単位:°C

3		6ヶ月点検
3.3	SIM	モニタ、コンピュータ、ガントリとヨークの清掃と点検(12M)
3.4	SI	ケーブルの確認(12M)
3.5	PM	ラベルの確認(12M)
4		12ヶ月点検 - PHS
4.1		リア PHS
4.1.1	SI	上/下リミットスイッチ稼働確認(12M)
4.1.2	PMF	空気/ガススプリングの漏洩確認(12M)
4.1.3	SI	ベースカバーとボルト頭部との接触確認(12M)
4.1.4	SI	リアPHSローラーに損傷がないか確認(12M)
4.1.5	SI	リアPHSウエッジに損傷がないか確認(12M)
4.1.6	PM	リアPHSベアリング・ブロックの注油(60M)
4.2		フロントPHS
4.2.1	Q	パレットパッドの点検と清掃(12M)
4.2.2		アクメナットの確認
	PMF	アクメバックアップナットの確認(12M)
	PM	アクメスクリューの注油(6M)
4.2.3	PM	フロントPHSリアベアリングブロックの注油(60M)
4.2.4	PM	ブロンズ・ベアリング/ショルダー・ボルトの注油(6M)
4.2.5	Q	PHSパレットのチェック(12M)
4.2.6	PMA	PHS アライメントのチェック(12M)
4.2.7	Q	ブレイン・ポジション・ラッチ・メカニズムの清掃とチェック(12M)
4.2.8	Q	患者位置保持用支持具の確認(12M)
4.2.9	Q	フットペダル確認(6M)
	PM	ドッカービン/プレートの清掃と注油(6M)
4.2.10	Q	パレット・リリース・スイッチの確認(12M)
4.2.11	Q	PHSストレージ・ポジションの確認(12M)
4.2.12	Q	乳房X線撮影パレットの変形チェック(オプションがある場合)(12M)
4.2.13	Q	小児用パレットの変形チェック(オプションがある場合)(12M)
5		12ヶ月点検 - ガントリ
5.1		ガントリの確認と注油
5.1.1	SIM	左右緊急時ストップの動作確認(12M)
5.1.2	SIM	リモート緊急時ストップ動作確認(12M)
5.1.3	SIE	ハンドコントローラーの動作確認(12M)
	PM	ハンドコントローラーの交換
5.1.4	PM	カウダルチルトスイッチ/クラッチが正常に稼働するか確認(オプションがある場合)(12M)
5.1.5	SI	カウダルチルトポテンショメータをPPM上で確認(12M)
5.1.6		ガントリ回転とケーブルの確認
	SI	稼働ポイントでケーブルに損傷がないか確認(12M)
	SI	ガントリ回転動作と、稼働制限がないか、ケーブルの挟込みなどがいないか確認(12M)
	PM	回転リングの注油(12M)
5.1.7		リコンフィグ(デュアルヘッドシステムのみ)(180度固定システムは除く)
	SI	リコンフィグのストップ・ポイント/セグメント/ホームの確認(12M)
	PM	リコンフィグカムの注油(12M)
5.1.8	SIE	回転ブレーキのホールド確認(12M)
5.1.9	SIM	テイクアップリールの点検(12M)
	PM	テイクアップリールの交換
5.1.10	SIM	システムホームシーケンスの完了確認とフラグがセンサー中央で停止する事の確認(12M)
5.1.11		ラジアル確認
	SIM	ラジアルアライメントの確認(12M)
	SIM	ラジアルボールスクリューの稼働と状態確認(12M)
	SIE	ラジアルブレーキLED(EBRBS)確認と機能確認(12M)
	PM	ボールスクリューの注油(12M)
	PM	かさ歯車の注油(12M)
5.1.12	SIE	ラジアル1ブレーキのホールド確認(12M)
5.1.13	SIE	ラジアル2ブレーキのホールド確認(デュアルヘッドシステムの場合)(12M)
5.1.14	PM	リニアベアリングブロックの注油(60M)
5.1.15	SIM	システムアライメントの確認(12M)
5.1.16	PMF	高エネルギー・コリメータのカートの確認(12M)
5.1.17	PMF	コリメータチェンジオペレーションとコリメータカートの確認(12M)
5.1.18		C-フレームとスイッチの検査
	PM	C-フレーム、ウェアストリップ、クリップの点検(12M)
	SIE	C-フレーム/コリメータカースイッチの稼働確認(12M)
5.1.19		C-フレームシャフト溶接部分の確認とドライブアセンブリの注油
	SI	C-フレームシャフト溶接部分の確認(12M)
	PM	C-フレームドライブアセンブリの注油(12M)
5.1.20	PM	C-フレームロックダウンスクリューの確認(12M)
5.1.21		ガントリ左/右(デュアルヘッドシステムの場合)
	SI	ガントリのリアホイールとプレートの確認(12M)
	PM	レイルトラックの注油(12M)
	PM	左/右のドライブスクリューの注油(12M)
5.1.22		PPMのチェック(オプションがある場合)
	QIQ	PPM モニタ設定チェック(12M)
	SI	DVDモード時、PPMにおける動作の無効チェック(12M)
	SI	PPMの関節の垂れチェック(12M)
5.1.23	SIM	ガントリとヨークの清掃と点検(12M)

5		12ヶ月点検 - ガントリ
5.2		ロードベアリングボルトの確認
5.2.1	SI	ベースフレームの確認(12M)
5.2.2	SI	ディテクタベアリングカーの確認(12M)
5.2.3	SI	ボールスクリューベアリングの取り付けの確認(12M)
5.2.4	SI	タブシフトディテクタクランプの確認(12M)
5.2.5	SI	トップクランプの確認(12M)
5.2.6	SI	レールキャスティングの確認(12M)
5.2.7	SI	タブとクラッチ取り付けの確認(12M)
5.2.8	SI	クラッチとYoke取り付けの確認(12M)
5.2.9	SI	前方上部カムフォロワーの確認(12M)
5.2.10	SI	下部キャスティングの確認(12M)
5.2.11	SI	コリメータクランプの確認(12M)
5.2.12	SI	下部後方カムフォロワーの確認(12M)

6		12ヶ月点検 - タワーとディテクタ
6.1		タワー
6.1.1	Q	MEB電源のチェック: +5, +/-12, +24 VDC(12M)
6.1.2	SIE	APC UPSマニュアルセルフテスト(オプションがある場合)(12M)
6.1.3	PM	タワーキャビネットの清掃(12M)
6.1.4	Q	カメラとガントリ診断実施(12M)
6.1.5	SW	Preserveファイルのバックアップ確認(12M)
6.2		syngo MI ワークステーション
6.2.1	PM	コンピュータの清掃(12M)
6.2.2	SW	SW settingsのバックアップ(12M)
6.2.3	SW	syngo MI Applications settingsのバックアップ(12M)
6.2.4	SW	SRS接続確認(12M)
6.2.5	SW	オートレポートが可能か確認(ソフトウェア2008A以上の場合)(12M)
6.2.6	SW	C:とD:ドライブのエラー確認(12M)
6.2.7	SW	ディスクデフラグ用プログラムをC:とD:ドライブに実行(12M)
6.2.8	QIQ	モニタ設定の確認(12M)
6.3		ディテクタ
6.3.1	PM	ヒューズホルダーの確認(12M)
6.3.2	PM	外部ファン稼働確認(12M)
6.3.3	PM	ディテクタの清掃(6M)
6.3.4	Q	ディテクタカバーの検査(12M)
6.3.5	QIQ	ペダスタル実施(12M)
6.3.6		ディテクタの確認
	QIQ	ディテクタのチューニング(12M)
	QIQ	均一性画像の確認、異常がないか確認(12M)
6.4	PM	イメージャー/プリンター: 製造元の指示によりプリンターの点検実施(12M)

7		12ヶ月点検 - オプション
7.1		C, クリアオプション 確認
	PM	C, クリア確認(6M)
7.3		電気的テスト
7.3.1	SIM	カバーと保護接地線の接続(12M)
7.3.1.1	SI	ガントリ: 保護接地抵抗値 $\leq 300\text{m}\Omega$ (12M)
7.3.1.2	SI	システム漏れ電流: 漏れ電流値 $\leq 300\mu\text{A}$ (12M)
7.3.1.3	SI	フロントPHS: 保護接地抵抗値 $\leq 300\text{m}\Omega$ (12M)
7.3.1.4	SI	リアPHS: 保護接地抵抗値 $\leq 300\text{m}\Omega$ (12M)
7.3.1.5	SI	タワー: 保護接地抵抗値 $\leq 300\text{m}\Omega$ (12M)
7.3.1.6	SI	ECG保護接地抵抗(オプション): 抵抗値 $\leq 300\text{m}\Omega$ (12M)
7.3.1.7	SI	ECG漏れ電流: 漏れ電流値 $\leq 1000\mu\text{A}$ (12M)
7.3.1.8	SI	ECG患者漏れ電流: 漏れ電流値 $\leq 50\mu\text{A}$ (12M)
7.4		システムの状態確認
	SI	システムとカバーのダメージの確認(12M)
	Q	委託者にシステムをお返しする前にシステムの状態を確認(6M)

シーメンス・ジャパン自主確認項目		
1		オプション: 環境測定
1.1		温湿度計の有無
1.2	PMF	温湿度計: 測定値(6M)
	PMF	温湿度測定器電池交換
1.3		除湿器の確認(6M)
		除湿器の有無
	PMF	フィルターの清掃
	PMF	ドレインの確認(必要に応じ清掃)
1.4		BIOS電池測定(12M)
		BIOS電池交換

2	Part1 イメージングシステム/ユーザーインターフェース/リアルタイムコントローラ
2.2	全般的目視点検 (12M)
2.2.1	IEC62353の目視点検
	SI 装置カバーの確認
	SI 使用説明書の確認
	SI ケーブル蛇腹ホースの確認
	SI ケーブル蛇腹ホースの確認 (移動ユニット)
	SI X線防護板の確認
	SI 警告ラベルの確認
2.3	イメージングシステム (AXIS) (12M)
2.3.1	機械的安全
2.3.1.1	SI 目視確認:構成部品(カバー、キーボード、マウスなど)
2.3.1.2	装置内部確認
	PM イメージングシステム
	PM ACEモジュール(イメージングシステム)
2.3.2	電気的安全の点検
2.3.2.1	SI 目視確認:コンポーネント(イメージングシステム)
2.3.3	定期的点検
2.3.3.1	PMP IVS/IAS(A/B)バッテリーの交換(36M)
2.3.4	動作値の点検
2.3.4.1	PMF 日付と時間の確認
2.3.4.2	PMF 機能確認:イメージングシステム(マウス、キーボード、ACEモジュール)
2.3.4.3	PMP サービスモードにての確認:エラーログの読み出し
2.4	ユーザーインターフェース(Artis zee) (12M)
2.4.2	安全点検
2.4.2.1	機械的安全
	SIM カバーの点検
	SIM 取付金具の点検
2.4.3	構成部品
2.4.3.1	ECC(タッチパネル)
	PMP 清掃
	PMF 動作テスト
2.4.3.2	PMF ジョイスティックのテスト(ソフトウェアがVC13x以上)
2.4.3.3	DDIS(角度表示用モニター)
	PMP 清掃
	PMF 動作テスト
	SIE アース線の状態
2.4.3.4	コントロールモジュール
	PMP 清掃
	PMP 目視点検
	PMF 動作テスト
	SI 緊急停止スイッチの動作確認
2.4.3.5	フットスイッチ
	PMP 目視点検
	PMP 清掃
	PMF 動作テスト
2.4.3.6	ハンドスイッチ
	PMP 機械点検
	PMP 清掃
	PMF 動作テスト
2.5	ワイヤレスフットスイッチ (オプション) (24M)
2.5.2	機械的安全の点検
2.5.2.1	SI 目視点検:ユニット
2.5.3	PMP 清掃
2.5.3.1	PMP 定期的点検:バッテリーの交換(24M)
2.5.3.2	PMF 動作の確認
2.5.4	電気的安全
2.5.4.1	SI 目視点検:充電ケーブル、コネクタ
2.6	FD冷却ユニット (12M)
2.6.2	定期的点検
	PM ホースの目視点検
	PM 冷却ユニットの確認
	PM 冷却液の量
	PMP 清掃

2	Part1 イメージングシステム/ユーザーインターフェース/リアルタイムコントローラ	
2.6	FD冷却ユニット (12M)	
2.6.2	定期的点検	
	PM ホースカップリングの目視点検	
	PM 冷却ユニットの確認	
	PM 冷却液の量	
	PMP 清掃	
2.7	リアルタイムコントローラ(RTC) (12M)	正面
2.7.2	電気的安全の点検	
	SI バイパスモードの動作確認	
	SIE ケーブルとケーブルコネクターの点検	
2.7.2.1	PMP 定期的点検:清掃	
2.7	リアルタイムコントローラ(RTC) (12M)	側面
2.7.2	電気的安全の点検	
	SIE ケーブルとケーブルコネクターの点検	
2.7.2.1	PMP 定期的点検:清掃	
2.8	ラージディスプレイ (12M)	
2.8.2	機械的安全	
2.8.2.1	PMP 外観の点検:傷みが無いか確認	
2.8.2.2	SIM モニタの固定を点検	
2.8.3	予防保全	
	QSQ ファンの確認と清掃	
	QSQ ブライトネスとコントラスト点検	
	QSQ エラーと警告メッセージの確認	
2.8.4	PMP 点検:TFTモニタの清掃	
2.8.5	最終点検	
2.8.5.1	PMP ユニットの清掃	
2.8.5.2	PMP 確認と清掃→ラージディスプレイ保護スクリーンの設置(オプション):確認と清掃	
2.8.5.3	電気的安全	
	SIE 電気的安全:ケーブルの点検	
	SIE アース線の点検	
	コックピット (9x) (オプション)(12M)	
2.9.2	機械的安全	
2.9.2.1	PMP 外観の点検:傷みが無いか確認	
2.9.3	予防保全	
2.9.3.1	QSQ TFTモニター:ブライトネスとコントラスト点検	
2.9.3.2	コックピットコントローラ	
	PMP ファンの確認と清掃	
	PMP ファン回転速度モニタリングを含む、エラーと警告の確認	
2.9.4	PMP 点検:TFTモニタの清掃	
2.9.5	最終点検	
2.9.5.1	電気的安全	
	SIE ケーブルとコネクターの点検	
	SIE アース線の点検	
2.9	コックピット (9x) (オプション) (12M)	
2.9.2	機械的安全	
2.9.2.1	PMP 外観の点検:傷みが無いか確認	
2.9.3	予防保全	
2.9.3.1	QSQ TFTモニター:ブライトネスとコントラスト点検	
2.9.3.2	コックピットコントローラ	
	PMP ファンの確認と清掃	
	PMP ファン回転速度モニタリングを含む、エラーと警告の確認	
2.9.4	PMP 点検:TFTモニタの清掃	
2.9.5	最終点検	
2.9.5.1	電気的安全	
	SIE ケーブルとコネクターの点検	
	SIE アース線の点検	

2		Part1 イメージングシステム/ユーザーインターフェース/リアルタイムコントローラ
2.10		TFTモニタ (12M)
2.10.3		機械的安全
2.10.3.1	PMP	外観の点検:傷みがないか確認
2.10.3.2	SIM	モニタの固定を点検
2.10.4		電気的安全
	SIE	電気的安全の点検:ケーブルとコネクタの点検
	SIE	アース線の点検
2.10.5	QSQ	予防保全:ブライツネスとコントラスト点検
2.10.6	PMP	点検:TFTモニタの清掃
2.11		最終点検 (12M)
2.11.2	SW	システムデータバックアップの実施
2.11.3		電気的安全
2.11.3.1		アース線の点検
	SIE	アース線の点検
	SIE	IEC62353によるアース線の測定

3		Part 2 X線発生装置 / 天井懸架アーム / DCS
3.2		X線発生装置 (12M)
3.2.2	SI	安全確認:X線管の負荷、照射中の表示確認
3.2.3		予防保全点検
	PMP	X線発生器キャビネット
	PMP	高圧ケーブルの点検
	PMP	X線管冷却ユニット(目視点検、フィルター清掃、冷却水補充)
	PMP	X線管冷却ユニットの動作点検
	PMP	X線管調整
3.2.4		動作設定値の確認
	PMF	撮影条件の点検
	PMF	面積線量計の点検
3.2		X線発生装置 (12M)
3.2.2	SI	安全確認:X線管の負荷、照射中の表示確認
3.2.3		予防保全点検
	PMP	X線発生器キャビネット
	PMP	高圧ケーブルの点検
	PMP	X線管冷却ユニット(目視点検、フィルター清掃、冷却水補充)
	PMP	X線管冷却ユニットの動作点検
	PMP	X線管調整
3.2.4		動作設定値の確認
	PMF	撮影条件の点検
	PMF	面積線量計の点検
3.3		天井懸架アーム(X線防護、インジェクター) (12M)
3.3.1		安全点検
	SIM	天井走行レールの取り付け
	PMP	機械的点検
	SI	衝突注意警告の表示ラベル
3.3.2	QSQ	天井走行レールの清掃
3.4		最終点検 (12M)
3.4.2	SW	システムデータバックアップの実施
3.4.3		電気的安全
3.4.3.1		アース線の点検
	SIE	アース線の点検
	SIE	IEC62353によるアース線の測定

4		Part3 フロアスタンド / FDレーザークロスヘア
4.2		フロアスタンド (12M)
4.2.2		機械的安全点検
4.2.2.1	SIM	スタンドベースの固定 (52Nm)
4.2.2.2	SIM	ローテーション動作:モーターの固定 (25Nm)
	SIM	Cアームの取り付け
	SIM	Cアームベアリングの固定確認
4.2.2.3		Cアーム
	SIM	Cアームベアリングの固定確認
	SIM	Cアームベアリングの取り付け
	SIM	Cアームガイドの状態 / 損傷
	SIM	歯状ベルトの状態
4.2.3		安全機構の電気的点検
4.2.3.1	SIE	絶縁プレートの取り付け、清掃
4.2.3.2	SIE	フロアスタンドのピボットポジションの点検
4.2.3.3	SIE	デッドマンスイッチの動作確認
4.2.3.4		リミットスイッチ機能
	SIE	Cアーム安全リミットスイッチ動作確認
	SIE	ローテーション動作のリミットスイッチ動作確認
4.2.3.5	SIE	衝突検出スイッチ動作確認
4.2.3.6	SIE	緊急停止の確認
4.2.4		点検
4.2.4.1	PMP	ローテーションドライブの注油と清掃
4.2.4.2	PMP	Cアームの注油と清掃
4.2.4.3	PMP	FDレセプターの注油と清掃
4.2.4.4	PMP	ピボットアーム・チェーンの注油と清掃
4.2.4.5	PMP	蛇腹ホースの状態確認
4.2.5		動作値での点検
4.2.5.1		サービスモードでの確認
	PMP	エラーリストの読み出し
	PMA	位置検出センサーと可変抵抗の値の確認
	PMP	ADコンバータの確認
	PMA	0度調整の確認
	PMP	電源電圧 (5V) の確認
4.2.6		機能点検
4.2.6.1	PMP	ユニットの動作確認:コントロールコンソールによる動作確認
4.2.7		最終点検
4.2.7.1		スタンドカバーの取り付け
	PMP	ユニットの清掃
	PMP	ISO-センターディスプレイランプの交換
4.2.7.2		電気的安全確認
	SIE	電気的安全確認:ケーブルとコネクタ
	SIE	アース線の点検
4.3		FDレーザークロスヘア(オプション) (12M)
4.3.2	SIM	機械的安全:FDレーザークロスヘアカバーの確認
4.3.4	PMP	定期点検:FDレーザークロスヘアの清掃
4.3.6	PMF	機能点検:機能確認と調整
4.4		最終点検 (12M)
4.4.2	SW	システムデータバックアップの実施
4.4.3		電気的安全
4.4.3.1		アース線の点検
	SIE	IEC62353によるアース線の測定

5	Part4 天吊スタンド(セカンドブレーン) / DCS
5.2	天吊スタンド(セカンドブレーン)(12M)
5.2.2	安全点検
	SIM 天井走行用レールの取り付け
	SIM マグネットセンサーの取り付け
	SIM 天井走行用レールのラバーストラップの点検
5.2.3	PMP 天井走行用レールの取り付け
5.2.3.1	機械的安全点検
	SIM ローラーとベアリングの取り付け
	SIM Latelal方向ガイドローラーの点検
	SIM Longitudinal方向ドライブモーターの取り付け
	PMP 位置検出可変抵抗の取り付け
5.2.3.2	天井走行部回転機構
	PMP チェーンとSprocketsの状態
	SIM ドライブモーターの取り付け
	SIM 回転のストップの取り付け
5.2.3.3	天井走行部の点検
	PMP 天井走行部の点検
	PMP ギア付モーターユニット
5.2.3.4	天井走行部の点検
	PMP Cアームモーターの取り付け
	PMP Cアーム、ガイドベアリング取り付け
	PMP Cアームガイドワイヤーの状態
	PMP トゥースベルトのダメージの点検
	PMP トゥースベルトの張りの点検
5.2.4	Cアームの点検
5.2.4.1	PMP Cアームの注油と清掃
5.2.4.2	PMP レセプターの注油と清掃
5.2.4.3	PMP チューブユニットサポートアームの取り付け
5.2.4.4	SIE 安全装置:天井走行スタンドのエンドポジションの点検
5.2.4.5	SIE デッドマンスイッチの動作確認
5.2.4.6	SIE リミットスイッチの動作確認
5.2.4.7	SIE 衝突防止スイッチの動作確認
5.2.4.8	SIE 緊急停止スイッチの動作確認
5.2.5	動作値での点検
	PMP エラーリストの読み出し
	PMA 位置検出センサーと可変抵抗の値の確認
	PMP ADコンバータの確認
	PMA 0度調整の確認
	PMP 電源(5V)の確認
5.2.5.1	PMF コントロールコンソールによる動作確認
5.2.6	最終点検
5.2.6.1	PMP スタンドカバーの取り付け:ユニットの清掃
5.2.6.2	電気的安全確認
	SIE 電気的安全確認:ケーブルとコネクタ
	SIE アース線の点検
5.3	DCS (12M)
5.3.2	保守、予防調整
	PMA カウンターバランス機構
	PM 目視にてカバーの点検
	PM 走行レールの点検
5.3.3	安全点検、機械的安全
	SI モニタ台
	SIM レールの固定 (50Nm)
	SIM ストップの固定
	SIM ローラーベアリングの点検
	SIM 天井走行キャリッジの点検
	SIM モニタサポートアーム
	SIM サポートアーム自在接続部
	SIM モニタ懸架台の点検
	SIM モニタ回転部の点検
	SIM ケーブルの点検
	SIM モニタ固定
	SIM ブレーキ動作点検
5.3.4	予防保全と清掃
	PM 清掃
	PM 配線および接続部点検
	PM モニタ
	PMF 動きの点検
	PM カバーパネルの取り付け
5.3.5	電気的安全
	SIE 天井走行スタンドとセカンドブレーンと延長DCSの構成確認
	SIE 高さ制限
	SIE サポートアームのキャップ
	SIE アース線の点検
5.4	最終点検 (12M)
5.4.2	SW システムデータバックアップの実施
5.4.3	電気的安全
5.4.3.1	アース線の点検
	SIE IEC62353によるアース線の測定

6	Part5 寝台 / UPS / 最終点検
6.2	寝台 (12M)
6.2.3	機械的安全の点検
	SIM テーブル固定の点検
	SIM 油圧ドライブの点検
	SIE S20テーブルチルトスイッチの点検(傾斜機能付きテーブルPN5767020のみ)
	SIM 天板ブレーキの点検
	SIM 天板の状態確認
	SIM テーブルアクセサリーの点検
6.2.4	電気的安全の点検
	SIE 緊急停止スイッチの動作確認
	SIE 天板の衝突防止スイッチ
	SIE 天板の種類検出の点検
	SIE テーブル上下動作確認
6.2.4.1	SIE 傾斜機能付テーブル(PN5767020)とORテーブル(PN5767053):傾斜動作点検
6.2.5	PMP 定期点検:清掃、注油
6.2.6	最終点検
6.2.6.1	PMP カバーの取り付け:ユニットの清掃
6.2.6.2	電気的安全
	SIE 電気的安全:ケーブルの点検
	SIE アース線の点検
6.3	UPS (12M)
6.3.3	PMP 定期的点検:UPS信号
6.3.4	PMP 動作の確認
6.3.4.1	PMF システム用の緊急時電源の動作確認
6.3.4.2	PMF 寝台・ユニット・イメージシステム用の緊急時電源の動作確認
6.3.4.3	PMF イメージシステム用の緊急時電源の動作確認
6.4	最終点検 (12M)
6.4.1	QIQ イメージオリティアー メンテナンステスト
6.4.3	PM 点検カウンターのリセット
6.4.4	SW システムデータバックアップの実施
6.4.5	電気的安全
	SIE アース線の点検
	SIE IEC62353によるアース線の測定

自主確認項目	
1.1	温湿度計の有無(毎回)
1.2	PMF 温湿度計:測定値(毎回)
	PMF 温湿度測定器電池交換
1.3	除湿器の有無(毎回)
	除湿器の確認
	PMF フィルターの清掃
1.4	PMF X線管使用量(毎回)
1.5	PMF SRSの接続確認(毎回)
1.6	PMF システム時間の確認、調整(毎回)
1.7	QIQ X-WP イメージオリティアー メンテナンステスト(12M)

3	点検(6ヶ月・12ヵ月毎)	
3.2	SI	部品取り付けの点検(12M)
3.3	SI	Care Vision(オプション):部品取り付けの点検(12M)
3.4	SI	システム:ケーブルと配線の点検(12M)
3.5	SI	Care Vision(オプション)ケーブルと配線の点検(12M)
3.6	SI	システム:ファントムとファントムホルダーの点検(12M)
3.7	SI	システム:アクセサリーの点検(12M)
3.8	SI	システム:ラベルの点検(12M)
3.9	PM	システムレポートの確認(6M)
3.1	PM	システム:システムステータスとログブックの確認(6M)
3.11	PM	PDC-A:DC_LINK(直流回路)冷却ファン機能確認(6M)
3.12	PM	PDC-A:インバーター冷却ファンの機能確認(6M)
3.13	PM	PDC-A:MVT冷却ファンの機能確認(6M)
3.14	PM	PDC-A:XGSコントロール冷却ファンの機能確認(6M)
3.15	PM	PDC-A UPSバッテリー状態の確認(6M)
3.16	PM	PDC-A:過電圧保護装置の確認(6M)
3.17	PM	PDC-B:DC_LINK(直流回路)冷却ファン機能確認(6M)
3.18	PM	PDC-B:インバーター冷却ファンの機能確認(6M)
3.19	PM	PDC-B:MVT冷却ファンの機能確認(6M)
3.2	PM	PDC-B:XGSコントロール冷却ファンの機能確認(6M)
3.21	PM	PDC-B:過電圧保護装置の確認(6M)
3.22	PM	IES:UPSバッテリー状態の確認(6M)
3.24	SI	PDC-A:保護機能の確認(12M)
3.25	SI	PDC-B:保護機能の確認(12M)
3.28.1	PM	PDC-A:エアフィルタの確認(6M)
3.28.2	PM	PDC-A:エアフィルタの清掃(6M)
3.28.3	PM	PDC-A:エアフィルタの交換(12M)
3.29	PM	PDC-A:入力ターミナルのMVTケーブル接続の確認(12M)
3.30.1	PM	PDC-B:エアフィルタの確認(6M)
3.30.2	PM	PDC-B:エアフィルタの清掃(6M)
3.30.3	PM	PDC-B:エアフィルタの交換(12M)
3.31	PM	PDC-B:入力ターミナルのMVTケーブル接続の確認(12M)
3.32	PM	ICS:吸気口の清掃(6M)
3.33	PM	IES:吸気口の清掃(6M)
3.34.1	PM	IRS:エアフィルタの確認(6M)
3.34.2	PM	IRS:エアフィルタの交換(12M)
3.37	PM	ガントリ:スリップリングアセンブリの清掃(6M)
3.38		ガントリ:パワーブラシブロックの清掃、パワーブラシの交換
	PM	パワーブラシブロックの清掃(6M)
	PM	パワーブラシの確認(6M)
	PM	パワーブラシの交換
3.39		ガントリ:シグナルブラシチップユニットの確認、交換
	PM	シグナルブラシチップユニットの確認(6M)
	PM	シグナルブラシチップユニットの交換
3.4	PM	ガントリ:EMCブラシの交換(6M)
3.41	PM	ガントリ:検出器照射口の確認・清掃(6M)
3.42	SI	ガントリ:X線管冷却ホースの点検(12M)
3.43	SI	ガントリ:WCSの復水フロートスイッチの交換(12M)
3.44	PM	ガントリ:メインベアリングへの注油(12M)
3.45		PHS:寝台への注油
3.45.2	PM	PHS:はさみ機構部上部ガイドレールへの注油(12M)
3.45.3	PM	PHS:はさみ機構部下部ガイドレールへの注油(12M)
3.45.4	PM	PHS:テーブルトップガイドレールへの注油(12M)
3.45.5	PM	PHS:トップサポートガイドレールへの注油(12M)
3.46		MPT(オプション):寝台への注油(マルチバーパス寝台/MPT)
3.46.2	PM	MPT(オプション):はさみ機構部下部ガイドレールへ注油(12M)
3.46.3	PM	MPT(オプション):はさみ機構部上部ガイドレールへ注油(12M)
3.46.4	PM	MPT(オプション):テーブルトップガイドレールへの注油(12M)
3.46.5	PM	MPT(オプション):トップサポートガイドレールへの注油(12M)
3.47	PM	PHS/MPT:テーブルトップの動力の確認(6M)
3.48	PM	PHS/MPT:トップサポートの動力の確認(6M)
3.49	SI	PHS/MPT:取り付け可能な位置決め補助具の確認(12M)

3(続き)	点検(6ヶ月・12ヵ月毎)	
3.5		天吊りモニタシステム(オプション):Haseke タイプのみ
3.50.1	PM	サポートアームの重量バランスの確認(6M)
3.51		天吊りモニタシステム(オプション):Ondalタイプのみ
3.51.1		天吊りモニタシステムの外観点検
	PM	ダメージの有無の確認(6M)
	PM	ヒビの有無の確認(6M)
3.51.2		リアルタイムコントローラー(RTC) (12M) 正面
	PM	垂直・水平方向への移動の確認(6M)
	PM	メカニカルエンドステップの確認(6M)
	PM	ロードバランスの確認(6M)
3.55		システム:保護接地抵抗の測定
3.55.3		リアルタイムコントローラー(RTC) (12M) 側面
	SIE	ガントリ: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	患者寝台(PHS): 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	PDC_Aキャビネット: 接地抵抗値 $\leq 100m\Omega$
	SIE	PDC_Bキャビネット: 接地抵抗値 $\leq 100m\Omega$
	SIE	ICS Tower PC: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	IRS Tower PC: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	IES用UPS: 接地抵抗値 $\leq 100m\Omega$
	SIE	IECタワーPC: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	ICSモニタ: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	IRSモニタ: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	IESモニタ: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	CAREVision(オプション)オーバーヘッドサポート $\leq 300m\Omega$
	SIE	CAREVision(オプション)モニタローリー $\leq 300m\Omega$
	SIE	CAREVision(オプション)モニタ $\leq 300m\Omega$
3.58	SI	PHS/MPT:リリーススイッチの確認(12M)
3.59	SI	システム:ドアスイッチの確認(12M)
3.6	SI	システム:X線照射準備ランプの機能確認(12M)
3.61	SI	システム:X線照射ランプの機能確認(12M)
3.62		システム:X線照射遮断機能(108%)のテスト
	SIE	システム:X線照射遮断機能の確認(12M)
3.63	SI	システム:緊急時停止回路の確認(12M)
3.64		クオリティテスト
3.64.1	Q	完了テストの実施(6M)

4	パーツ事前交換	
4.1	PM	PDC-A:UPSバッテリーバックの交換(24M)
4.2	PM	IES:UPSバッテリーバックの交換(24M)
4.3	PM	IVM(オプション):IVPのバッテリーの交換(24M)

シーメンス・ジャパン自主確認項目		
1		オプション:環境測定
1.1		温湿度計の有無(点検毎)
1.2	PMF	温湿度計:測定値(点検毎)
	PMF	温湿度測定器電池交換
1.3		除湿器の確認(点検毎)
		除湿器の有無
	PMF	フィルターの清掃
1.4		チラー稼働状態確認(点検毎)
		チラーの有無
	PMF	チラー操作盤流量または水圧表示
	PMF	チラー操作盤設定水温
1.5		装置の日時の確認と調整(点検毎)
		ICS
		IES(オプション)

3	点検(12ヵ月毎)	
3.2	PM	システム:システムステータスとログブックの確認
3.3	SI	外装の点検(12M)
3.4	SI	システム:ケーブルと配線の点検(12M)
3.5	SI	システム:ファントムとファントムホルダーの点検(12M)
3.6	SI	システム:アクセサリーの点検(12M)
3.7	SI	システム:ラベルの点検(12M)
3.8	SI	Care Vision(オプション):外装の点検(12M)
3.9	SI	Care Vision(オプション)ケーブルと配線の点検(12M)
3.10	PM	PDC:DC_LINK(直流回路)冷却ファン機能確認(12M)
	PM	PDC:インバーター冷却ファンの機能確認(12M)
	PM	PDC:AUXインバーター冷却ファンの機能確認(12M)
3.11	PM	PDC:過電圧保護装置の確認(12M)
3.13	SI	PDC:保護機能の確認(12M)
3.16	PM	PDC:エアフィルタの交換(12M)
3.17	PM	PDC:PUSバッテリーバックの交換(24M)
3.18	PM	ICS:吸気口の清掃(12M)
3.19	PM	IPS(オプション):吸気口の清掃(12M)
3.20	PM	IRS:エアフィルタの交換(12M)
3.21	PM	ガントリ:PEブラシの交換(24M)
3.22	PM	ガントリ:検出器照射口の確認・清掃(12M)
3.24	PM	ガントリ:メインベアリングへの注油(24M)
3.25	SI	PHS-5:ベアリングボルトの確認(24M)
3.26	SI	PHS-5:寝台への注油(24M)
3.27	PM	PHS:垂直方向スピンドルへの注油
	PM	PHS:はさみ機構部上部ガイドレールへの注油
	PM	PHS:はさみ機構部下部ガイドレールへの注油
	PM	PHS:テーブルトップガイドレールへの注油
	PM	PHS:テーブルサポートガイドレールへの注油
3.3	SI	天吊りモニタシステム(オプション)機能確認
3.31	PM	IVM(オプション):IVPのバッテリー交換
		ガントリ:パワーブラシブロックの清掃、パワーブラシの交換
	PM	パワーブラシブロックの清掃(6M)
	PM	パワーブラシの確認(6M)
	PM	パワーブラシの交換
		ガントリ:シグナルブラシチップユニットの確認、交換
	PM	シグナルブラシチップユニットの確認(6M)
	PM	シグナルブラシチップユニットの交換
	PM	ガントリ:EMCブラシの交換(6M)
	PM	ガントリ:検出器照射口の確認・清掃(6M)
	SI	ガントリ:X線管冷却ホースの点検(12M)
	SI	ガントリ:WCSの復水フロートスイッチの交換(12M)
	PM	ガントリ:メインベアリングへの注油(12M)

3(続き)	点検(6ヶ月・12ヵ月毎)	
3.5		天吊りモニタシステム(オプション):Haseke タイプのみ
3.50.1	PM	サポートアームの重量バランスの確認(6M)
3.51		天吊りモニタシステム(オプション):Ondalタイプのみ
3.51.1		天吊りモニタシステムの外観点検
	PM	ダメージの有無の確認(6M)
	PM	ヒビの有無の確認(6M)
3.51.2		リアルタイムコントローラー(RTC) (12M) 正面
	PM	垂直・水平方向への移動の確認(6M)
	PM	メカニカルエンドステップの確認(6M)
	PM	ロードバランスの確認(6M)
3.55		システム:保護接地抵抗の測定
3.55.3		リアルタイムコントローラー(RTC) (12M) 側面
	SIE	ガントリ: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	患者寝台(PHS): 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	PDC_Aキャビネット: 接地抵抗値 $\leq 100m\Omega$
	SIE	PDC_Bキャビネット: 接地抵抗値 $\leq 100m\Omega$
	SIE	ICS Tower PC: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	IRS Tower PC: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	IES用UPS: 接地抵抗値 $\leq 100m\Omega$
	SIE	IECタワーPC: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	ICSモニタ: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	IRSモニタ: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	IESモニタ: 接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	CAREVision(オプション)オーバーヘッドサポート $\leq 300m\Omega$
	SIE	CAREVision(オプション)モニタロー $\leq 300m\Omega$
	SIE	CAREVision(オプション)モニタ $\leq 300m\Omega$
3.58	SI	PHS/MPT:リリーススイッチの確認(12M)
3.59	SI	システム:ドアスイッチの確認(12M)
3.6	SI	システム:X線照射準備ランプの機能確認(12M)
3.61	SI	システム:X線照射ランプの機能確認(12M)
3.62		システム:X線照射遮断機能(108%)のテスト
	SIE	システム:X線照射遮断機能の確認(12M)
3.63	SI	システム:緊急時停止回路の確認(12M)
3.64		クオリティーテスト
3.64.1	Q	完了テストの実施(6M)

4	パーツ事前交換	
4.1	PM	PDC-A:UPSバッテリーバックの交換(24M)
4.2	PM	IES:UPSバッテリーバックの交換(24M)
4.3	PM	IVM(オプション):IVPのバッテリーの交換(24M)

シーメンス・ジャパン自主確認項目		
1		オプション:環境測定
1.1		温湿度計の有無(点検毎)
1.2	PMF	温湿度計:測定値(点検毎)
	PMF	温湿度測定器電池交換
1.3		除湿器の確認(点検毎)
		除湿器の有無
	PMF	フィルターの清掃
1.4		チラー稼働状態確認(点検毎)
		チラーの有無
	PMF	チラー操作盤流量または水圧表示
	PMF	チラー操作盤設定水温
1.5		装置の日時の確認と調整(点検毎)
		ICS
		IES(オプション)

点検(12ヵ月毎)	
1	装置外観点検
1.1	SI サーバの外観損傷点検
1.2	PM 設置状態の確認
1.3	PM LEDランプの確認
2	安全点検
2.1	SIE 電源ケーブル損傷状態の確認
2.2	SIE 電源ケーブル接続状態の確認
2.3	SIE UPSへの電源ケーブル接続状態の確認
3	サーバの予防点検
3.1	PMF オペレーションシステムの動作状況確認
3.2	PMF ポインティングデバイスの動作確認
3.3	PMF 入力デバイスの動作確認
3.4	PMF モニタの動作確認
3.5	PMF サーバ状態監視ツールによる総合確認
3.6	PMF RAID コントローラの状態確認
3.7	PMF RAID ディスクの状態確認
3.8	PMF 電源装置の状態確認
3.9	PMF FANの動作状態確認
3.10	PMF メモリの動作状態確認
3.11	PMF CPUの動作状態確認
3.12	PMF 高額デバイスの動作状態確認
4	サーバ アプリケーション(ソフトウェア)の点検
4.1	SW HealthCheckログの存在確認
4.2	SW アプリケーション設定の保存確認
5	サーバ データベースの点検
5.1	SW データベース バックアップの保存確認
7	UPSの点検
7.1	PMF UPS管理ツールによるステータスを確認
8	リモート(SRS) 接続
8.1	リモート(SRS) 接続の確認
9	装置の最終確認動作を確認
9.1	Q 装置の最終確認動作を確認
10	装置の清掃
10.1	Q 装置の清掃
11	補足情報の収集
11.1	Q 画像要領とアーカイブ保存について 画像要領の確認

2	Part1 イメージングシステム/ユーザーインターフェース/リアルタイムコントローラ/ディスプレイ
2.2	全般的目視点検 (12M)
2.2.1	IEC62353の目視点検
	SI 装置カバーの確認
	SI 使用説明書の確認
	SI ケーブル蛇腹ホースの確認
	SI ケーブル蛇腹ホースの確認(移動ユニット)
	SI X線防護板の確認
	SI 警告ラベルの確認
2.3	イメージングシステム (12M)
2.3.1	機械的安全
2.3.1.1	SI 目視確認:構成部品(カバー、キーボード、マウスなど)
2.3.1.2	装置内部確認
	PM イメージングシステム
	PM ACEモジュール(イメージングシステム)
2.3.2	電気的安全の点検
2.3.2.1	SI 目視確認:コンポーネント(イメージングシステム)
2.3.3	定期的点検
2.3.3.1	PMP IVS/IAS(A/B)バッテリーの交換(36M)
2.3.4	動作値の点検
2.3.4.1	PMF 目付と時間の確認
2.3.4.2	PMF 機能確認:イメージングシステム(マウス、キーボード、ACEモジュール)
2.3.4.3	PMP サービスモードにての確認:エラーログの読み出し
2.4	ユーザーインターフェース(Artis zee) (12M)
2.4.2	安全点検
2.4.2.1	機械的安全
	SIM カバーの点検
	SIM 取付金具の点検
2.4.3	構成部品
2.4.3.1	ECC(タッチパネル)
	PMP 清掃
	PMP 目視点検
	PMF 動作テスト
2.4.3.2	DDIS(角度表示用モニター)
	PMP 清掃
	PMP 目視点検
	PMF 動作テスト
2.4.3.3	コントロールモジュール
	PMP 清掃
	PMP 目視点検
	PMF 動作テスト
	SI 緊急停止スイッチの動作確認
2.4.3.4	フットスイッチ
	PMP 目視点検
	PMP 清掃
	PMF 動作テスト
2.4.3.5	ハンドスイッチ
	PMP 目視点検
	PMP 清掃
	PMF 動作テスト

2	Part1 イメージングシステム/ユーザーインターフェース/リアルタイムコントローラ/ディスプレイ
2.5	ワイヤレスフットスイッチ (オプション) (24M)
2.5.2	機械的安全の点検
2.5.2.1	SI 目視点検:ユニット
2.5.3	PMP 清掃
2.5.3.1	PMP 定期的点検:バッテリーの交換(24M)
2.5.3.2	PMF 動作の確認
2.5.4	電気的安全
2.5.4.1	SI 目視点検:充電ケーブル、コネクタ
2.6	FD冷却ユニット (12M)
2.6.2	定期的点検
	PM ホースカップリングの目視点検
	PM 冷却装置の確認
	PM 冷却液の量
	PMP 清掃
2.7	リアルタイムコントローラ(RTC) (12M)
2.7.1	電気的安全の点検
	SI バイパスモードの動作確認
	SIE ケーブルとケーブルコネクタの点検
2.7.1.1	PMP 定期的点検:清掃
2.8	ラージディスプレイ/MDM (12M)
2.8.2	機械的安全
2.8.2.1	PMP 外観の点検:傷みが無いか確認
2.8.2.2	SIM モニタの固定を点検
2.8.3	ラージディスプレイの点検
	QSQ ファンの確認と清掃
	QSQ ブライツネスとコントラスト点検
2.8.4	MDMの点検
	PMP ファンの確認と清掃
	PMP MDMのBIOSバッテリーの交換 (36M)
2.8.5	PMP 点検:TFTモニタの清掃
2.8.6	最終点検
2.8.6.3	電気的安全
	SIE 電気的安全:ケーブルの点検
2.9	コックピット (9x) (オプション)(12M)
2.9.2	機械的安全
2.9.2.1	PMP 外観の点検:傷みが無いか確認
2.9.3	予防保全
2.9.3.1	QSQ TFTモニター:ブライツネスとコントラスト点検
2.9.3.2	コックピットコントローラ
	PMP ファンの確認と清掃
	PMP コックピットコントローラBIOSバッテリー交換 (36M)
2.9.4	PMP コックピットの清掃
2.9.5	最終点検
2.9.5.1	電気的安全
	SIE ケーブルとコネクタの点検
2.11	最終点検(12M)
2.11.2	電気的安全、アース線の点検
2.11.2.2	SIE イメージシステムのアース線の点検
2.11.2.3	SIE フットスイッチのアース線の点検
2.11.2.4	SIE ラージディスプレイのアース線の点検
	SIE コックピットモニタのアース線の点検

3	Part 2 X線発生装置 / 天井懸架アーム	
3.2	X線発生装置 (12M)	
3.2.1	SI	安全確認:X線管の負荷、照射中の表示確認
3.2.2	予防保全点検	
3.2.2.1	PMP	X線発生器キャビネットの清掃
3.2.2.2	PMP	高圧ケーブルの接触確認
3.2.2.3	X線管冷却ユニット(Kluver/Laird,Lytron, and One4all)	
	PMP	冷却装置ホースの目視点検
	PMP	ポンプフィルターの交換
		冷却水の補充
3.2.2.4	PMF	X線管調整
3.2.3	動作設定値の確認	
3.2.3.1	QIQ	面積線量計の簡易点検 (12M)
3.2.3.2	QIQ	面積線量計の技術点検 (60M)
3.3	天井懸架アーム(X線防護、インジェクター) (12M)	
3.3.1	安全点検	
	SIM	天井走行レールの取り付け
	PMP	機械的点検
	SI	衝突注意警告の表示ラベル
3.3.2	QSQ	天井走行レールの清掃
3.4	最終点検 (12M)	
3.4.2	電気的安全、アース線の点検	
3.4.2.2	SIE	発生器のアース線の点検
3.4.2.3	X線管冷却ユニットのアース線の点検	

4	Part3 Artis T 天吊アスタンド / DCS / FDレーザークロスヘア / コリメータ	
4.2	Artis T 天吊りスタンド (12M)	
4.2.1	機械的安全点検	
4.2.1.1	懸架レール	
	SIM	天井走行レールの取り付け
	SIM	ローラーのはみだしの確認
	SIM	ガイドレール間の距離の測定(ローラーのはみ出しが3mmより大きい時)
	SIM	天井走行レールのラバーストップパーの点検
4.2.2.2	天井走行部の点検	
	SIM	マグネットセンサーの取り付け
	SIM	ローラーとベアリングの取り付け
	SIM	左右ガイドローラーの点検
	SIM	Longitudinal方向ドライブモーターの取り付け
	PMP	Longitudinal方向ドライブのトゥースベルトの取り付け
	PMP	Longitudinal方向ドライブトゥースベルトの張りの点検
	PMP	位置検出可変抵抗の取り付け
4.2.1.3	天井走行部回転機構	
	SIM	ドライブモーターの取り付け
	SIM	回転のストップの取り付け
4.2.1.4	内、外Cアーム	
	PMP	ドライブモーターの取り付け
	PMP	内、外Cアーム、ガイドベアリング取り付け
	PMP	トゥースベルトとドライブギアの状態
	PMP	ガイドワイヤーの状態
	SIM	トゥースベルトの目視確認
	SIM	トゥースベルトの張り
	SIM	トゥースベルトの確認事項の入力
4.2.1.5	PMP	オービタルドライブの点検:ドライブモーターの取り付け
4.2.2	電気的安全の点検	
4.2.2.1	SIM	安全装置:天井走行スタンドのエンドポジションの点検
4.2.2.2	SIM	デッドマンスイッチの動作確認
4.2.2.3	SIM	リミットスイッチの動作確認
4.2.2.4	SIM	衝突検出スイッチの動作確認
4.2.2.5	SIM	緊急停止スイッチの動作確認
4.2.3	点検	
4.2.3.1	PMP	懸架レール:レールの清掃、注油
4.2.3.2	天井走行部の点検	
	PMP	天井走行部の清掃、注油
	PMP	ドライブユニットの点検
4.2.3.3	PMP	内、外Cアーム:レールの清掃、注油
4.2.3.4	PMP	レセプタードライブの清掃
4.2.4	動作値での点検	
		サービスモードでの確認
	PMP	エラーリストの読み出し
	PMP	位置検出センサーと可変抵抗の値の確認
	PMP	ADコンバータの確認
	PMP	0度調整の確認
	PMP	電源(5V)の確認
4.2.5	機能点検	
4.2.5.1	PMP	コントロールコンソールによる動作確認

4	Part3 Artis T 天吊アスタンド / DCS / FDレーザークロスヘア / コリメータ
4.2.6	最終点検 スタンドカバーの取り付け PMF 清掃と補修 電気的安全確認 SIE 電気的安全確認:ケーブルとコネクタ
4.3	DCS(12M) 保守、予防調整 PMF カウンターバランス機構 PMF 目視にてカバーの点検 PMF 走行レールの点検 PMF モニタサポートアーム PMF モニタ回転部の点検 PMF ケーブルの点検 PMF ブレーキ動作点検 PMF キャリッジの動作の確認
4.3.2	機械的安全 ストッパー、ローラーベアリング SIM ストッパーの点検 SIM ローターベアリングの点検 シーリングレール、シーリングの基礎構造の確認 SIM レールの固定 (50Nm) SIE 天井走行キャリッジの点検 SIE ローターのはみ出しの確認
4.3.2.3	モニタアーム、ディスプレイサポート SIM 多関節ヘッドの確認 SIM ディスプレイサポートの確認
4.3.4	最終点検 PM 電気的接続の確認 PM 清掃と傷の補修
4.4	FDレーザークロスヘア(オプション) (12M)
4.4.2	SIM 機械的安全:FDレーザークロスヘアカバーの確認
4.4.3	PMP 定期点検:FDレーザークロスヘアの清掃
4.4.4	PMF 機能点検:機能確認と調整
4.6	最終点検 (12M) 電気的安全、アース線の点検 SIE 天吊りスタンドのアース線の測定 SIE DCSのアース線の点検 SIE レーザークロスヘアのアース線の点検 SIE コリメータのアース線の点検

5	Part4 寝台 / UPS / 最終点検
5.2	寝台 (12M)
5.2.2	機械的安全の点検 SIM テーブル固定の点検 SIM 油圧ドライブの点検 SIE S20テーブルチルトスイッチの点検(傾斜機能付きテーブルPN5767020のみ) SIM 天板ブレーキの点検 SIM 天板の状態確認 SIM テーブルアクセサリーの点検
5.2.3	電気的安全の点検 SIE 緊急停止スイッチの動作確認 SIE 天板の衝突防止スイッチ SIE 天板の種類検出の点検 SIE テーブル上下動作確認
5.2.3.1	SIE 傾斜機能付テーブルとORテーブル:傾斜動作点検
5.2.4	PMP 定期点検:清掃、注油
5.2.5	最終点検
5.2.5.2	PMP 清掃と補修 電気的安全の点検 SIE ケーブルとコネクタ
5.6	IQAPテスト (12M) QIQ イメージオリティー メンテナンステスト Inspace3D QIQ Inspace3Dのイメージオリティー メンテナンステスト QIQ Nexarisオプション: Instant Fusionの精度確認(±5mm)
5.7	最終点検 PM 点検カウンターのリセット PMF コンフィグ、バージョンチェックの実施
5.7.4.2	電気的安全、アース線の点検 SIE 患者寝台のアース線の測定

自主確認項目	
1.1	温湿度計の有無 (毎回)
1.2	PMF 温湿度計:測定値 (毎回) PMF 温湿度測定器電池交換
1.3	除湿器の有無 (毎回) 除湿器の確認 PMF フィルターの清掃
1.4	PMF X線管使用量 (毎回)
1.5	PMF SRSの接続確認 (毎回)
1.6	PMF システム時間の確認、調整 (毎回)
1.7	QIQ X-WP イメージオリティー メンテナンステスト (12M)

2		点検(6ヶ月・12ヵ月毎)
2.2	PM	システム:システムステータスとログブックの確認(12M)
2.3	SI	システム:部品取り付けの点検(12M)
2.4	SI	システム:ケーブルと配線の点検(12M)
2.5	SI	システム:ファントムの目視点検とファントムホルダーの確認(12M)
2.6	SI	システム:アクセサリーの点検(12M)
2.7	SI	システム:ラベルの点検(12M)
2.8	SI	Sliding Gantry(オプション):部品取り付けの点検(12M)
2.9	SI	Care Vision(オプション):部品取り付けの点検(12M)
2.10	SI	Care Vision(オプション):ケーブルと配線の点検(12M)
2.11	PM	PDC-A:DC LINK(直流回路)冷却ファンの機能確認(12M)
	PM	PDC-A:インバーター冷却ファンの機能確認(12M)
	PM	PDC-A:MVT冷却ファンの機能確認(12M)
	PM	PDC-A:XGSコントロール冷却ファンの機能確認(12M)
2.12	PM	PDC-A:過電圧保護装置の確認(12M)
2.13	PM	PDC-A:UPSバッテリー状態の確認(12M)
2.17	SI	PDC-A:保護機能の確認(12M)
2.20	PM	PDC-A:エアフィルタの確認・清掃(12M)
	PM	PDC-A:エアフィルタの交換(12M)
2.21	PM	ICS:吸気口の清掃(12M)
	PM	IRS:エアフィルタの確認・清掃(12M)
	PM	IRS:エアフィルタの交換(12M)
2.26	PM	ガントリ:スリップリングアセンブリの清掃(12M)
2.27	PM	ガントリ:ブラシブロックの清掃(12M)
	PM	ガントリ:パワーブラシ長の確認(12M)
2.28	PM	ガントリ:検出器照射口の確認・清掃(12M)
2.29	PM	ガントリ:X線管冷却ホースの目視点検(12M)
2.31	PM	ガントリ:メインベアリングへの注油(12M)
2.32	PM	スライディングガントリ(オプション):レールカバーstrippの確認(12M)
2.33	PM	スライディングガントリ(オプション):キャリッジのフェルトstrippへの注油(12M)
2.34	PM	スライディングガントリ(オプション):スイッチレールピンへの注油(12M)
2.35	PM	スライディングガントリ(オプション):スイッチレール機能の確認(12M)
2.46		システム:保護接地抵抗の測定(12M)
		SOMATOM Confidence
	SIE	ガントリ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	PDCキャビネット:接地抵抗値 $\leq 100m\Omega$
	SIE	IRS Tower PC:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	ICS Tower PC:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	ICSモニタ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	CAREVision(オプション)モニタ:接地抵抗値 $\leq 300m\Omega$
	SIE	Sliding Gantry(オプション)キャリッジユニット $\leq 300m\Omega$
	SIE	Sliding Gantry(オプション)コントロールキャビネット $\leq 300m\Omega$
	SIE	Sliding Gantry(オプション)エナジーチェーン $\leq 300m\Omega$
2.52	SI	システム:X線照射準備ランプの機能確認(12M)
2.53	SI	システム:X線照射ランプの機能確認(12M)
2.54	SI	システム:X線照射遮断機能(108%)の確認(12M)
2.55	SI	システム:緊急時停止回路の確認(12M)
2.56	PM	クオリティテスト(12M)

3		パーツ事前交換
3.1	PM	PDC-A:UPSバッテリーパックの交換(24M)
自主確認項目		
1		オプション:環境測定
1.1		温湿度計の有無(点検毎)
1.2	PMF	温湿度計:測定値(点検毎)
	PMF	温湿度測定器電池交換
1.3		除湿器の確認(点検毎)
		除湿器の有無
	PMF	フィルターの清掃
		ドレインの確認(必要に応じて清掃)
1.4		チラー稼働状態確認(点検毎)
		チラーの有無
	PMF	チラー操作盤流量または水圧表示
	PMF	チラー操作盤設定水温
1.5		装置の日時の確認と調整(点検毎)

2		システム
2.1		IEC 62353による検査
	SI	装置カバー
	SI	EMCシールド
	SI	使用説明書
	SI	ケーブル蛇腹ホース
	SI	システム:ラベルの点検 (12M)
	SI	警告ラベル
3		清掃
	PM	装置内部熱放出部の点検
	PM	清掃
5		Uroskop Omnia Max
5.2		検査と点検
5.2.1	PM	目視点検:ケーブルと蛇腹ケーブルの確認
5.2.2		リフティングベース点検
	PMP	リフティングベース
	SIM	床ベースの取り付け具合の確認
	PMP	リフティングベースの清掃と注油
	PMP	シーリング部
5.2.3		ユニットサポート点検
	PMP	ユニットサポート
	PMP	ユニットサポートの清掃と注油
	PMP	システム長手方向ドライブの点検
	SI	寝台テーブルトップ
5.2.4	SI	肘サポートの点検
5.2.5.1		緊急停止スイッチ / ルーム緊急オフ
	SI	ユニットサポート緊急停止スイッチ
	SI	コントロールコンソール緊急停止スイッチ
	SI	リフティングベース緊急停止スイッチ
	SIE	ルーム緊急オフ
5.2.5.2		システムテーブルサイドコントロール
	PMP	機械的確認
	PMP	清掃
	SIE	ケーブルの接続
	PMF	システムテーブルサイドコントローラーの機能
5.2.5.3	SIM	フットレストの機械的機能の確認
5.2.6		TFTサポートアーム
5.2.6.1		機械的安全
	SIM	ハウジングパーツ取り付け
	SIM	ウエイトコンペンゼーションの確認
	PMP	モニタ取り付け
	PMP	パークポジションスイッチの検査
6		発生器
		検査と点検
	PM	外観の清掃
	SI	高圧ケーブルシールド
	SI	X線照射表示
	PMA	X線管調整の実施
7		マルチリーフコリメータ / ユニバーサルコリメータ
7.2		検査と点検
	PM	清掃
	SIM	コリメータ取り付け
	SIM	コリメータ下のアクセサリレー
8		Fluoroディテクタ ( Trixell )
	QIQ	キャリブレーションの実施(前回実施から6カ月以上経過した場合)

11		IQテスト
11.2.1	QIQ	IQテストの実施
12		オプション
12.1		内視鏡棚
12.1.2	PM	清掃
	PMP	外観チェック
12.2		システムフットスイッチ
12.2.2		点検
	PM	清掃
	PMP	目視点検
	PMF	システムフットスイッチの機能
12.3		ビデオマネージャー
12.3.2		点検
	PM	清掃
	PMP	機械的点検
	SIE	接続
	PMF	機能
13		最終動作確認
13.2		IEC62353に沿った安全チェック
13.2.1		アースチェック
	SIE	グラウンドワイヤー抵抗測定
13.3		ファンクションテスト

自主確認項目		
1		オプション:環境測定
1.1		温湿度計の有無(点検毎)
1.2	PMF	温湿度計:測定値(点検毎)
	PMF	温湿度測定器電池交換
1.3		除湿器の確認(点検毎)
		除湿器の有無
	PMF	フィルターの清掃
		ドレンの確認(必要に応じて清掃)
1.4	PMF	X線管使用量(毎回)
1.5	PMF	SRSの接続確認(毎回)
1.6	PMF	システムの時間確認、調整(毎回)
1.7	PMF	FLC内の清掃

3		システム点検
3.2	PM	システムのスレータスの確認(12M)
3.4		ガントリー:傾斜機能の確認(12M)
3.6		システムの目視点検(12M)
	SI	部品取り付け部の目視点検
	SI	ケーブルやコネクタの目視点検
	SI	アクセサリ類の目視点検
	SI	ファントムとファントムホルダの目視点検
	SI	警告ラベルの目視点検
	SI	タブレットの目視点検(オプション)
3.9	PM	ガントリー:エアフィルターの交換(6M)
3.12		寝台可動部への注油(36M)
	PM	テーブル天板ガイドキャリッジへの注油
	PM	天板のサポートローラーの表面に注油
	PM	上下用モータードライブへの注油
3.16	SI	ガントリー:PDS内部のサージプロテクターの確認(12M)
3.17	SI	ガントリー:ICS/IRSのエアの吸気口の清掃および確認(12M)
3.18	PM	ガントリー:無停電装置(UPS)の吸気口の清掃(12M)
3.19	PM	ガントリー:無停電装置(UPS)のバッテリーの状態の確認(12M)
3.20	PM	ガントリー:ローテーションドライブのベルトテンション機能の確認(36M)
3.21	PM	ガントリー:ブラシブロックの交換(36M)
3.22	PM	ガントリー:メインベアリングへの注油(36M)
3.23	PM	ガントリー:環境監視基盤(EMB)のバッテリー交換(36M)
3.24	PM	ガントリー:冷却用ファンの確認(36M)
3.32		ガントリー:PDS保護機能の機能試験(12M)
	SI	RCMA(保護機能)の確認
	SI	F2の機能確認
	SI	F12の機能確認
3.33	SI	ラインコネクションボックス:RCMA(保護機能)の確認(オプション/12M)
3.38.1		スタンダードコンポーネント
	SI	PDB:接地抵抗 $\leq 100\text{ m}\Omega$
	SI	ガントリー:接地抵抗 $\leq 300\text{ m}\Omega$
	SI	患者寝台(Vector/Vario):接地抵抗 $\leq 300\text{ m}\Omega$
	SI	ICSモニター:接地抵抗 $\leq 300\text{ m}\Omega$
	SI	無停電装置(UPS):接地抵抗 $\leq 300\text{ m}\Omega$
3.38.2		オプションコンポーネント
	SI	LCB(オプション):接地抵抗 $\leq 100\text{ m}\Omega$
	SI	Dual monitor(オプション):接地抵抗 $\leq 300\text{ m}\Omega$
	SI	Foot Switch "移動"(オプション):接地抵抗 $\leq 300\text{ m}\Omega$
3.39.1		漏れ電流の測定(12M)
	SI	寝台:テーブルトップ(テーブルトッププレート~GND) $80\text{ }\mu\text{ A[AC]}$ 以下
	SI	寝台:テーブルトップ(テーブルトッププレート~GND) $80\text{ }\mu\text{ A[DC]}$ 以下
3.41		システム:機能試験(12M)
	SI	緊急停止ボタン回路の確認
	SI	X線遮断機能の確認
	SI	X線照射ランプの機能確認
	SI	位置決め補助アクセサリの確認
3.42	PM	システム:イメージオリティエー試験(12M)
3.43	PM	システム:装置の清掃(12M)

1		装置外観点検(syngo.via)
1.1	SI	サーバの外観損傷点検
1.2	PM	設置状態の確認
1.3	PM	LEDランプの確認
2		安全点検
2.1	SIE	電源ケーブル損傷状態の確認
2.2	SIE	電源ケーブル接続状態の確認
2.3	SIE	UPSへの電源ケーブル接続状態の確認
3		サーバ予防点検
3.1	PMF	オペレーションシステムの動作状態確認
3.2	PMF	ポインティングデバイスの動作確認
3.3	PMF	入力デバイスの動作確認
3.4	PMF	モニタの動作確認
3.5	PMF	サーバ状態監視ツールによる総合確認
3.6	PMF	RAID コントローラの状態確認
3.7	PMF	RAID ディスクの状態確認
3.8	PMF	電源装置の状態確認
3.9	PMF	FANの動作状態確認
3.10	PMF	メモリの動作状態確認
3.11	PMF	CPUの動作状態確認
4		サーバ アプリケーション (ソフトウェア) の点検
4.1	SW	HealthCheckログの存在確認
4.2	SW	アプリケーション設定の保存確認
5		サーバ データベースの点検
5.1	SW	データベース バックアップの保存確認
6		クライアントの点検
6.1		クライアントの有無
6.1.1	PMF	クライアント・サーバー間接続テストの実施
6.1.2	SW	クライアント・アプリケーションログの確認
6.1.3	PMF	クライアントのハードディスク イメージ保存、または確認
7		UPSの点検
7.1	PMP	UPS管理ツールによるステータスを確認
8		リモート(SRS)接続
8.1		リモート(SRS)接続の確認
9		装置の最終確認動作を確認
9.1	Q	装置の最終確認動作を確認
10		装置の清掃
10.1	Q	装置の清掃
11		補足情報の収集と記載
	Q	画像容量とアーカイブ保存について

自主確認項目	
1	オプション:環境測定
1.1	温湿度計の有無
1.2	PMF 検査室
	PMF 温湿度測定器電池交換
1.3	除湿器の確認
	除湿器の有無
	PMF フィルタの清掃
	ドレインの確認(必要に応じて清掃)
1.4	装置の日時の確認と調整
1.5	エックス線管照射履歴の作成と送信

請求支払計画一覧(西部医療センター)

契約期間	2026年04月01日～		
	2027年03月31日		
	12ヶ月		
保守料金	金	円	請求月 毎月
消費税額	金	円	支払日 翌月末日まで
合計	金	円	消費税率 10%

保守月	保守料金	請求月	請求額	消費税額	合計	支払月	
2026年04月		2026年09月					
2026年05月							
2026年06月							
2026年07月							
2026年08月							
2026年09月							
2026年10月							
2026年11月							
2026年12月							
2027年01月		2027年03月					
2027年02月							
2027年03月							
合計							

請求支払計画一覧(陽子線治療センター)

契約期間	2026年04月01日～		
	2027年03月31日		
	12ヶ月		
保守料金	金	円	請求月 毎月
消費税額	金	円	支払日 翌月末日まで
合計	金	円	消費税率 10%

保守月	保守料金	請求月	請求額	消費税額	合計	支払月	
2026年04月		2026年09月					
2026年05月							
2026年06月							
2026年07月							
2026年08月							
2026年09月							
2026年10月							
2026年11月							
2026年12月		2027年03月					
2027年01月							
2027年02月							
2027年03月							
合計							

## 障害者差別解消に関する特記仕様書

(対応要領に沿った対応)

第1条 この契約による事務事業の実施（以下「本件業務」という。）の委託を受けた者（以下「受託者」という。）は、本件業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「法」という。）及び愛知県障害者差別解消推進条例（平成27年愛知県条例第56号）に定めるもののほか、公立大学法人名古屋市立大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領（以下「対応要領」という。）に準じて、不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供その他障害者に対する適切な対応を行うものとする。

(対応指針に沿った対応)

第2条 前条に定めるもののほか、受託者は、本件業務を履行するに当たり、本件業務に係る対応指針（法第11条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

## 情報取扱注意項目

### (基本事項)

第1 この契約による本学の保有する情報の取扱い（以下「本件業務」という。）の委託を受けた者（以下「乙」という。）は、本件業務を履行するに当たり、情報保護の重要性を認識し、情報の適正な保護及び管理のために必要な措置を講じるとともに、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

### (関係法令等の遵守)

第2 乙は、本件業務を履行するに当たり、当該業務に係る関係法令のほか、名古屋市情報あんしん条例（平成16年名古屋市条例第41号。以下「あんしん条例」という。）、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「保護法」という。）、名古屋市個人情報保護条例（令和4年名古屋市条例第56号。以下「保護条例」という。）その他情報保護に係る関係法令も遵守しなければならない。

### (適正管理)

第3 乙は、本件業務に関して知り得た本学の保有する情報（公立大学法人名古屋市立大学（以下「甲」という。）が、利用、提供、廃棄等について決定する権限を有し、事実上当該情報を管理しているといえるものをいう。）の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の本学の保有する情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

### (個人情報の適正取得)

第4 乙は、本件業務を履行するために、個人情報（保護法第2条第1項に規定する個人情報をいう。以下同じ。）を収集するときは、当該業務を履行するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

### (第三者への提供及び目的外使用の禁止)

第5 乙及び本件業務に従事している者又は従事していた者は、本学の保有する情報を正当な理由なく第三者に知らせ、又は当該業務の目的外に使用してはならない。  
2 前項の規定は、契約の終了（契約を解除した場合を含む。以下同じ。）後においても同様とする。

### (再委託の禁止又は制限等)

第6 乙は、甲の承認を得ることなく、本件業務を第三者に委託してはならない。  
2 乙は、本件業務を第三者に委託する場合は、本学の保有する情報の取扱いに関し、この契約において乙が課せられている事項と同一の事項を当該第三者に遵守させなければならない。  
3 乙は、機密情報（名古屋市情報あんしん条例施行細則（平成16年名古屋市規則第50号）第28条第1項第1号に規定する機密情報をいう。以下同じ。）の取扱いを伴う本件業務を委託した第三者からさらにほかの第三者に委託（以下「再々委託」という。）させてはならない。ただし、再々委託することによむを得ない理由がある場合であって、甲が認めたときはこの限りでない。

### (複写及び複製の禁止)

第7 乙は、甲から指示又は許可された場合を除き、本学の保有する情報が記録された資料及び成果物（甲の指示又は許可を受けてこれらを複写し、又は複製したものを含む。以下同じ。）を複写し、又は複製してはならない。

### (情報の返却及び処分)

第8 乙は、本学の保有する情報が記録された資料のうち甲から取得したものを取り扱う必要がなくなったときは、その都度速やかに甲に返却しなければならない。ただし、甲の承認を得た場合はこの限りでない。  
2 乙は、前項に規定する場合を除き、本学の保有する情報を取り扱う必要がなくなったときは、その都度確実かつ速やかに切断、溶解、消磁その他の復元不可能な方法によって処分しなければならない。ただし、甲の承認を得た場合はこの限りでない。

### (情報の授受及び搬送)

第9 本学の保有する情報並びに本学の保有する情報が記録された資料及び成果物の授受は、全て甲の指名する職員と乙の指名する者との間において行うものとする。  
2 乙は、本学の保有する情報を搬送する際には、漏えい、滅失又は毀損が起こらないようにしなければならない。

### (報告等)

第10 乙は、甲が本学の保有する情報の保護のために実地調査をする必要があると認めたときは、これを拒んではならない。また、甲が本学の保有する情報の保護について報告を求めたときは、これに応じなければならない。  
2 乙は、本学の保有する情報の漏えい、滅失又は改ざん等の事故が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、直ちに甲に報告し、甲の指示に従わなければならない。

### (従事者の教育)

第11 乙は、本件業務に従事している者に対し、あんしん条例、保護法、保護条例その他情報保護に係る関係法令を周知するなど、情報の保護に関し十分な教育を行わなければならない。  
2 乙は、本件業務が個人情報を取り扱う業務である場合、当該業務に従事している者に対し、保護法に規定された罰則の内容を周知しなければならない。  
3 乙は、本件業務に従事している者に対し、あんしん条例に規定された罰則の内容を周知しなければならない。  
4 乙は、情報の取扱いに関するマニュアルを作成し、本件業務に従事している者に対し、その内容並びに守秘義務に関する事項及び本学の保有する情報の目的外利用の禁止又は制限に関する事項を周知しなければならない。

### **(契約解除及び損害賠償等)**

第 12 甲は、乙が情報取扱注意項目に違反していると認めるときは、次の各号に掲げる措置を講じることができる。

- (1) 契約を解除すること。
  - (2) 損害賠償を請求すること。
  - (3) 本学の保有する情報が漏えいし、市民の権利が害されるおそれがあると認めるときは、あんしん条例第 34 条第 1 項の規定に基づき勧告し、その勧告に従わなかったときは、同条第 2 項の規定に基づきその旨を公表すること。
- 2 前項第 2 号及び第 3 号の規定は、契約の終了後においても適用するものとする。

### **(特定個人情報に関する特則)**

第 13 乙は、本件業務が特定個人情報（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成 25 年法律第 27 号。以下「番号利用法」という。）第 2 条第 8 項に規定する特定個人情報をいう。以下同じ。）を取り扱う事務である場合、あらかじめ甲の承認を得た場合を除き、本件業務の履行場所から特定個人情報を持ち出してはならない。

- 2 乙は、本件業務において特定個人情報を取り扱う者を明確にしなければならない。なお、甲から求めがあるときは、特定個人情報を取り扱う者について速やかに報告しなければならない。
- 3 乙は、本件業務において特定個人情報を取り扱う者に対し、番号利用法その他特定個人情報の保護に係る関係法令を周知するなど特定個人情報の保護に関し十分な教育を行うとともに、特定個人情報の取扱いについて監督しなければならない。
- 4 乙は、前 3 項に規定する事項のほか、番号利用法第 2 条第 12 項に規定する個人番号利用事務実施者としての義務を果たすこと。ただし、当該業務が個人番号関係事務の場合は、「第 2 条第 12 項に規定する個人番号利用事務実施者」を「第 2 条第 13 項に規定する個人番号関係事務実施者」と読み替えるものとする。

### **(電子情報の消去に関する特則)**

第 14 乙は、甲が使用する機器の記録媒体を廃棄又はリース（賃貸を含む。）をしている機器の記録媒体を返却するに当たり、本件業務により当該機器の記録媒体に記録された電子情報の消去を行う場合は、全ての情報を消去の上、復元不可能な状態にしなければならない。

- 2 乙は、前項の消去を行ったときは、電子情報を復元不可能な方法によって消去したことを証する写真その他の証拠を添えた証明書等を提出して、甲の確認を受けなければならない。